

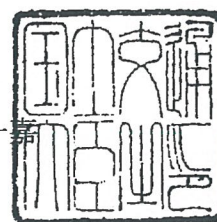


認 定 書

国 住 指 第 9 1 2 号
令和 2 年 9 月 11 日

ニチハ株式会社
代表取締役社長 山中 龍夫 様

国土交通大臣 赤羽 一嘉



下記の構造方法等については、建築基準法第 68 条の 25 第 1 項（同法第 88 条第 1 項において準用する場合を含む。）の規定に基づき、同法第 2 条第七号並びに同法施行令第 107 条第一号及び第三号（屋根：各 30 分間）の規定に適合するものであることを認める。

記

1. 認定番号
FP030RF-0099-2
2. 認定をした構造方法等の名称
葺材 [かわら製、スレート製、めっき鋼板製、ステンレス鋼板製、アルミニウム合金板製、銅板製又はチタン板製]・硬質木片セメント板・フェノールフォーム板／軽量鉄骨造屋根
3. 認定をした構造方法等の内容
別添の通り

（注意）この認定書は、大切に保存しておいてください。



素晴らしい人間環境づくり

ニチハ株式会社

管理番号 NICHHA・F-



(別 添)

1. 構造名

葺材 [かわら製、スレート製、めっき鋼板製、ステンレス鋼板製、アルミニウム合金板製、銅板製又はチタン板製]・硬質木片セメント板・フェノールフォーム板／軽量鉄骨造屋根

2. 形状及び寸法等

(寸法単位:mm)

項 目	仕 様
屋根寸法	<ul style="list-style-type: none"> ・ 幅 910 以上 ・ 長 さ 303 以上 ・ 厚 さ 139 以上
母屋間隔	2000 以下

3. 材料構成

1) 主構成材料

(寸法単位:mm)

項 目	仕 様
①荷重支持部材 (たる木)	一般構造用軽量形鋼 <ul style="list-style-type: none"> ・ 規 格 JIS G 3350 ・ 断面形状 □-100×50×20×2.3 の断面寸法以上 (野地板の目地部は2本使用) ・ 間 隔 606 以下
②屋根葺材	(1)～(3)のうち、いずれか一仕様とする (1)かわら 1)、2)のうち、いずれか一仕様とする。 1)粘土がわら <ul style="list-style-type: none"> ・ 規 格 JIS A 5208 ・ 形 状 形状の例は別添-33 参照 2)プレスセメントがわら <ul style="list-style-type: none"> ・ 規 格 JIS A 5402 ・ 形 状 形状の例は別添-33 参照 ・ 単位面積質量 $44\pm4\text{kg/m}^2$ 以下 (2)スレート 住宅屋根用化粧スレート <ul style="list-style-type: none"> ・ 規 格 JIS A 5423 ・ 形 状 1)、2)のうち、いずれか一仕様とする 1) 平形屋根スレート 2) 波形屋根スレート (別添-34 参照) ・ 働 き 幅 600 以上 910 以下 ・ 働き長さ 150 以上 225 以下 ・ 単位面積質量 $44\pm4\text{kg/m}^2$ 以下 (3)金属板 1)～2)のうち、いずれか一仕様とする。 1)溶融亜鉛めっき鋼板 <ul style="list-style-type: none"> ・ 規 格 JIS G 3302 ・ 厚 さ 0.4 以上

項 目	仕 様
②屋根葺材 (つづき)	<p>2) 塗装溶融亜鉛めっき鋼板</p> <ul style="list-style-type: none"> ・規 格 JIS G 3312 ・厚 さ 0.4 以上 ・塗 装 1)～f)のうち、いずれか一仕様とする <ul style="list-style-type: none"> 1) アクリル系樹脂塗装 2) ポリエステル系樹脂塗装 3) シリコン系樹脂塗装 4) アミノ・アルキド系樹脂塗装 5) 塩化ビニル系樹脂塗装 6) フッ素系樹脂塗装 7) エポキシ系樹脂塗装 8) ウレタン系樹脂塗装 ・塗 布 量 片面 65g/m² 以下 <p>3) 溶融亜鉛-5%アルミニウム合金めっき鋼板</p> <ul style="list-style-type: none"> ・規 格 JIS G 3317 ・厚 さ 0.4 以上 <p>4) 塗装溶融亜鉛-5%アルミニウム合金めっき鋼板</p> <ul style="list-style-type: none"> ・規 格 JIS G 3318 ・厚 さ 0.4 以上 ・塗 装 1)～f)のうち、いずれか一仕様とする <ul style="list-style-type: none"> 1) アクリル系樹脂塗装 2) ポリエステル系樹脂塗装 3) シリコン系樹脂塗装 4) アミノ・アルキド系樹脂塗装 5) 塩化ビニル系樹脂塗装 6) フッ素系樹脂塗装 7) エポキシ系樹脂塗装 8) ウレタン系樹脂塗装 ・塗 布 量 片面 65g/m² 以下 <p>5) 溶融 55%アルミニウム-亜鉛合金めっき鋼板</p> <ul style="list-style-type: none"> ・規 格 JIS G 3321 ・厚 さ 0.4 以上 <p>6) 塗装溶融 55%アルミニウム-亜鉛合金めっき鋼板</p> <ul style="list-style-type: none"> ・規 格 JIS G 3322 ・厚 さ 0.4 以上 ・塗 装 1)～f)のうち、いずれか一仕様とする <ul style="list-style-type: none"> 1) アクリル系樹脂塗装 2) ポリエステル系樹脂塗装 3) シリコン系樹脂塗装 4) アミノ・アルキド系樹脂塗装 5) 塩化ビニル系樹脂塗装 6) フッ素系樹脂塗装 7) エポキシ系樹脂塗装 8) ウレタン系樹脂塗装 ・塗 布 量 片面 65g/m² 以下 <p>7) 熱間圧延ステンレス鋼板</p> <ul style="list-style-type: none"> ・規 格 JIS G 4304 ・厚 さ 0.4 以上 <p>8) 冷間圧延ステンレス鋼板</p> <ul style="list-style-type: none"> ・規 格 JIS G 4305 ・厚 さ 0.4 以上

(寸法単位:mm)

項 目	仕 様
②屋根葺材 (つづき)	<p>9) 塗装ステンレス鋼板(国土交通大臣認定：NM-8316～NM-8326)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・厚 さ 0.4 以上 ・塗 装 ｲ)～ﾌ)のうち、いずれか一仕様とする <ul style="list-style-type: none"> ｲ) アクリル系樹脂塗装 ﾚ) ポリエステル系樹脂塗装 ﾊ) シリコン系樹脂塗装 ﾆ) アミノ・アルキド系樹脂塗装 ﾈ) 塩化ビニル系樹脂塗装 ﾊﾞ) フッ素系樹脂塗装 ﾄ) エポキシ系樹脂塗装 ﾌ) ウレタン系樹脂塗装 ・塗 布 量 片面 65g/m² 以下 <p>10) 伸銅材(国土交通大臣認定：NM-8586～NM-8595)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・厚 さ 0.4 以上 <p>11) チタン展伸材(国土交通大臣認定：NM-8596)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・厚 さ 0.4 以上 <p>12) カラーアルミ(国土交通大臣認定：NM-8597 又は NM-8598)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・厚 さ 0.4 以上 ・塗 装 ｲ)～ﾌ)のうち、いずれか一仕様とする <ul style="list-style-type: none"> ｲ) アクリル系樹脂塗装 ﾚ) ポリエステル系樹脂塗装 ﾊ) シリコン系樹脂塗装 ﾆ) アミノ・アルキド系樹脂塗装 ﾈ) 塩化ビニル系樹脂塗装 ﾊﾞ) フッ素系樹脂塗装 ﾄ) エポキシ系樹脂塗装 ﾌ) ウレタン系樹脂塗装 ・塗 布 量 片面 65g/m² 以下 <p>13) アルミニウム(平成 12 年建設省告示第 1400 号)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・厚 さ 0.4 以上

項 目	仕 様
②屋根葺材 (つづき)	<p>14) 無機質断熱材裏張・金属板(国土交通大臣認定：NM-8673)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・裏張材 ⅴ)～ⅵ)のうち、いずれか一仕様とする <ul style="list-style-type: none"> ⅴ) せっこうフォームシート <ul style="list-style-type: none"> ・厚 さ 2.0 以上 ⅵ) ガラス繊維シート <ul style="list-style-type: none"> ・厚 さ 2.0 以上 ⅶ) ロックウールフェルト <ul style="list-style-type: none"> ・厚 さ 4.0 以上 ⅷ) セラミック繊維シート <ul style="list-style-type: none"> ・厚 さ 5.0 以上 ・金属板 ⅴ)～ⅶ)のうち、いずれか一仕様とする <ul style="list-style-type: none"> ⅴ) 溶融亜鉛めっき鋼板 <ul style="list-style-type: none"> ・規 格 JIS G 3302 ⅵ) 電気亜鉛めっき鋼板 <ul style="list-style-type: none"> ・規 格 JIS G 3313 ⅶ) 溶融アルミニウムめっき鋼板 <ul style="list-style-type: none"> ・規 格 JIS G 3314 ⅷ) ステンレス鋼板 <ul style="list-style-type: none"> ・規 格 JIS G 4304、4305、4312 ⅸ) 塗装溶融亜鉛めっき鋼板 <ul style="list-style-type: none"> ・規 格 JIS G 3312 ⅹ) 塗装ステンレス鋼板 <ul style="list-style-type: none"> ・規 格 JIS G 3320 ・金属板厚 0.35 以上 ・接 着 剤 ⅴ)、ⅵ)のうち、いずれか一仕様とする <ul style="list-style-type: none"> ⅴ) クロロプレンゴム系 <ul style="list-style-type: none"> ・使用量 30g/m² 以下 ⅵ) アイオノマー系樹脂 <ul style="list-style-type: none"> ・使用量 30g/m² 以下 <p>15) 両面合成樹脂塗装/アルミニウム合金板(国土交通大臣認定：NM-3555)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・厚 さ 0.6 以上 ・塗装塗布量 片面 65g/m² 以下 両面計 130g/m² 以下 <p>16) 溶融アルミニウムめっき鋼板 (JIS G 3314)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・厚 さ 0.35 以上 <p>17) 両面ポリエステル樹脂系塗料/アルミニウムめっき鋼板 (国土交通大臣認定：NM-9583、NM-9584)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・厚 さ 0.35 以上 ・塗装塗布量 片面 65g/m² 以下 両面計 130g/m² 以下 <p>18) フッ素樹脂系塗装/裏面ポリエステル樹脂系塗料/アルミニウムめっき鋼板 (国土交通大臣認定：NM-9662)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・厚 さ 0.35 以上 ・塗装塗布量 片面 65g/m² 以下 両面計 130g/m² 以下

項 目	仕 様
②屋根葺材 (つづき)	<p>19)両面アクリル樹脂系塗装/亜鉛めっき鋼板 (国土交通大臣認定：NM-8341、NM-8514)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・厚 さ 0.35 以上 ・塗装塗布量 片面 65g/m² 以下 両面計 130g/m² 以下 <p>20)両面ポリエステル樹脂系塗装/溶融アルミニウムめっき鋼板 (国土交通大臣認定：NM-1863)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・厚 さ 0.35 以上 ・塗装塗布量 片面 65g/m² 以下 両面計 130g/m² 以下 <p>21)塗装/亜鉛めっき鋼板 (国土交通大臣認定：NM-8697)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・厚 さ 0.35 以上 ・塗装塗布量 片面 65g/m² 以下 両面計 130g/m² 以下 <p>22)建築構造用溶融亜鉛-アルミニウム-マグネシウム合金めっき鋼板 (MSTL-0069・MSTL-0070、MSTL-0064・MSTL-0065)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・厚さ 0.35 以上 <p>23)フッ化ビニリデン樹脂系塗装/両面アクリル・塩化ビニル樹脂系 塗装/亜鉛めっき鋼板 (国土交通大臣認定：NM-8400)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・厚 さ 0.35 以上 ・塗装塗布量 片面 65g/m² 以下 両面計 130g/m² 以下 <p>24)アルミニウム・亜鉛合金めっき鋼板 (国土交通大臣認定：NM-8027)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・厚 さ 0.35 以上 <p>25)ポリエステル樹脂系塗装/アルミニウム・亜鉛合金めっき鋼板 (国土交通大臣認定：NM-8028)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・厚 さ 0.35 以上 ・塗装塗布量 片面 65g/m² 以下 両面計 130g/m² 以下 <p>26)ウレタン樹脂系塗装亜鉛合金板張/合成樹脂塗装鋼板 (国土交通大臣認定：NE-0040、NE-0044)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・厚 さ 0.35 以上 ・塗装塗布量 片面 65g/m² 以下 両面計 130g/m² 以下 <p>27)亜鉛合金板張/合成樹脂塗装鋼板 (国土交通大臣認定：NE-0041、NE-0045)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・厚 さ 0.35 以上 ・塗装塗布量 片面 65g/m² 以下 両面計 130g/m² 以下 <p>28)ウレタン樹脂系塗装亜鉛合金板張/鋼板 (国土交通大臣認定：NE-0042、NE-0046)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・厚 さ 0.35 以上 ・塗装塗布量 片面 65g/m² 以下 両面計 130g/m² 以下 <p>29)亜鉛合金板張/鋼板 (国土交通大臣認定：NE-0043、NE-0047)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・厚 さ 0.35 以上

(寸法単位:mm)

項 目	仕 様
③裏張材 (合成樹脂系)	<p>(1)、(2)のうち、いずれか一仕様とする</p> <p>(1)なし</p> <p>(2)あり (④野地板 [2] フェノールフォーム保温板が厚さ 25 以上の場合に限る (屋根葺材(3)-1)~13)、15)~29)に限る))</p> <p>材料：1)~8)のうち、いずれか一仕様とする</p> <p>1) ポリエチレンフォーム</p> <ul style="list-style-type: none"> ・組成 (質量%) : <ul style="list-style-type: none"> ポリエチレンフォーム 99.5 以下 発泡剤等 0.5 以上 <p>2) ポリエチレンフォーム</p> <ul style="list-style-type: none"> ・組成 (質量%) : <ul style="list-style-type: none"> ポリエチレンフォーム 87.0 以下 難燃材 (テトラブロモフタルイミド等) 8.7 以上 無機質 4.3 以上 <p>3) 無機質高充てんフォームプラスチック</p> <ul style="list-style-type: none"> ・組成 (質量%) : <ul style="list-style-type: none"> ・有機系樹脂：43 以下 エチレン酢ビ共重合体等有機質 <ul style="list-style-type: none"> エチレン酢ビ共重合 80~95 オレフィン系樹脂 5~20 ・無機質系充てん剤：46 以上；a) 又は b) のうちいずれか一仕様とする <ul style="list-style-type: none"> a) <ul style="list-style-type: none"> 水酸化マグネシウム 21 以上 水酸化アルミニウム 23 以上 三酸化アンチモン 2 以下 b) <ul style="list-style-type: none"> 水酸化アルミニウム 38 以上 三酸化アンチモン 8 以下 ・難燃材他：11 以上 <ul style="list-style-type: none"> 臭素系難燃材 (デカブロモジフェニルエーテル) 7 以上 三酸化アンチモン 4 以下 <p>4) オレフィン樹脂系フォーム</p> <ul style="list-style-type: none"> ・組成 (質量%) : <ul style="list-style-type: none"> ・有機系樹脂：41 <ul style="list-style-type: none"> オレフィン系樹脂 37 アゾジカルボンアミド 1 ジカルバミルヒドラジン 1 ヒドラゾジカルボンイミド 1 有機系顔料 (イソインドリノン系) 1 ・難燃材：59 <ul style="list-style-type: none"> 水酸化マグネシウム 21 水酸化アルミニウム 23 三酸化アンチモン 4 臭素系難燃材 (デカブロモジフェニルエーテル) 11

(寸法単位:mm)

項 目	仕 様
③裏張材 (合成樹脂系) (つづき)	<p>5) ポリエチレンフォーム</p> <ul style="list-style-type: none"> ・組成 (質量%) : <ul style="list-style-type: none"> ・有機系樹脂 : 39.0 ± 3.0 ポリエチレン系樹脂 39.0 ± 3.0 ・充てん剤 : 5 ± 0.05 <ul style="list-style-type: none"> 有機チタン化合物 2.0 ± 0.05 金属脂肪酸塩 1.5 ± 0.05 酸化亜鉛 1.0 ± 0.05 有機系酸化防止剤 0.5 ± 0.05 ・難燃材 : 56 ± 2.0 <ul style="list-style-type: none"> 水酸化アルミニウム 38.0 ± 2.0 臭素系難燃材 (デカブロモジフェニルエーテル) 12.0 ± 1.5 三酸化アンチモン 6.0 ± 0.7 <p>6) 水酸化マグネシウム混入/エチレン-酢酸ビニル樹脂系フォーム</p> <ul style="list-style-type: none"> ・組成 (質量%) : <ul style="list-style-type: none"> ・有機系樹脂 : 40.2 ± 4.0 エチレン-酢酸ビニル樹脂 40.2 ± 4.0 ・難燃材 : 59.8 ± 4.0 <ul style="list-style-type: none"> 水酸化マグネシウム 32.2 ± 3.0 水酸化アルミニウム 14.1 ± 1.5 臭素系難燃材 (デカブロモジフェニルエーテル) 9.1 ± 1.0 三酸化アンチモン 4.4 ± 0.5 <p>7) ポリエチレン樹脂系フォーム</p> <ul style="list-style-type: none"> ・組成 (質量%) : <ul style="list-style-type: none"> ・有機系樹脂 : 40 ± 4.0 ポリエチレン系樹脂 40 ± 4.0 ・難燃材 : 59 ± 3.2 <ul style="list-style-type: none"> 水酸化マグネシウム 32 ± 3.2 水酸化アルミニウム 14 ± 1.4 臭素系難燃材 (デカブロモジフェニルエーテル) 9 ± 0.9 三酸化アンチモン 4 ± 0.5 ・添加剤 : 1 ± 0.1 <ul style="list-style-type: none"> 加工助剤 (シリコンオイル) 0.6 ± 0.05 酸化防止剤 (ヒンダートフェノール系) 0.4 ± 0.05 <p>8) 建築用断熱材 (JIS A 9521)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・種類 : Ⅰ) ~ Ⅱ) のうち、いずれか一仕様とする <ul style="list-style-type: none"> Ⅰ) ポリスチレンフォーム Ⅱ) ウレタンフォーム Ⅲ) ポリエチレンフォーム Ⅳ) フェノールフォーム <p>・厚さ 10 以下</p>

(寸法単位:mm)

項 目	仕 様
③裏張材（合成樹脂系） （つづき）	<ul style="list-style-type: none">・裏張材用接着剤1)、2)のうち、いずれか一仕様とする1)なし2)あり<ul style="list-style-type: none">・材料：イ～ホ)のうち、いずれか一仕様とするイ)アクリルウレタン系樹脂接着剤ロ)アクリル系樹脂接着剤ハ)ウレタン系樹脂接着剤ニ)クロロプレンゴム系接着剤ホ)アイオノマー系樹脂接着剤・塗布量：30g/m²以下（有機質量）
④木棧	<p>(1)、(2)のうち、いずれか一仕様とする</p> <p>(1)あり(②屋根葺材が(1)又は、(3)の金属かわら葺の場合に限る)</p> <ul style="list-style-type: none">・材料：木材・寸法 15 以上×21 以上 <p>(2)なし</p>

項 目	仕 様
⑤野地板	<p>[1]硬質木片セメント板</p> <ul style="list-style-type: none"> ・規 格 JIS A 5404 ・厚 さ $18_{\pm 2}$ 以上 ・密 度 $1.0_{\pm 0.2}$ 以上 <p>[2]フェノールフォーム保温板</p> <p>(1)～(9)のうち、いずれか一仕様とする</p> <p>(1)フェノールフォーム保温板</p> <ul style="list-style-type: none"> ・規 格 JIS A 9511 ・組 成(質量%) <ul style="list-style-type: none"> フェノール樹脂 100 炭 化 水 素 2～7 (外割) ・面 材 1)～4)のうち、いずれか一仕様とする <ul style="list-style-type: none"> 1)ポリエステル系不織布 ($20\sim 40\text{g/m}^2$) 2)ポリプロピレン系不織布 ($20\sim 40\text{g/m}^2$) 3)ポリエチレン系加工紙 ($20\sim 40\text{g/m}^2$) <ul style="list-style-type: none"> ・規 格 JIS Z 1514 4)アルミニウムはく <ul style="list-style-type: none"> ・規 格 JIS Z 1520 5)不燃性の加工紙 <ul style="list-style-type: none"> (1) 酸マグネシウム紙、ガラス繊維紙、アルミニウム、ガラス繊維複合紙 ・厚 さ 12～66 ・寸 法 幅 1000 以下 長さ 2000 以下 ・密 度 $27_{\pm 3}\sim 40_{\pm 5}\text{kg/m}^3$ <p>(2)両面無機質混沙紙張／フェノールフォーム板 (国土交通大臣認定：QM-9699)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・厚 さ 12～66 ・寸 法 幅 1000 以下 長さ 2000 以下 ・密 度 $27_{\pm 3}\sim 40_{\pm 5}\text{kg/m}^3$ <p>(3)両面パルプ・ガラス繊維混入けい酸マグネシウム混沙紙張 ／フェノールフォーム板(国土交通大臣認定：QM-0021)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・厚 さ 12～66 ・寸 法 幅 1000 以下 長さ 2000 以下 ・密 度 $27_{\pm 3}\sim 40_{\pm 5}\text{kg/m}^3$ <p>(4)両面エポキシ樹脂系塗装アルミニウムはく・ポリエステル不織布張 ／フェノールフォーム板(国土交通大臣認定：QM-0054)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・厚 さ 12～66 ・寸 法 幅 1000 以下 長さ 2000 以下 ・密 度 $27_{\pm 3}\sim 40_{\pm 5}\text{kg/m}^3$ <p>(5)両面アルミニウムはく・ポリエステル不織布張／フェノールフォーム板 (国土交通大臣認定：QM-0055)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・厚 さ 12～66 ・寸 法 幅 1000 以下 長さ 2000 以下 ・密 度 $27_{\pm 3}\sim 40_{\pm 5}\text{kg/m}^3$ <p>(6)フェノールフォーム充てん／両面ポリエステル不織布裏張・エポキシ 系樹脂塗装アルミニウムはく(国土交通大臣認定：NM-0315)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・厚 さ 12～66 ・寸 法 幅 1000 以下 長さ 2000 以下 ・密 度 $27_{\pm 3}\sim 40_{\pm 5}\text{kg/m}^3$ <p>(7)両面アルミニウムはく・ガラスクロス張／両面ガラス繊維不織布張 ／フェノール樹脂発泡板(国土交通大臣認定：NM-0191)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・厚 さ 20～75 ・寸 法 幅 1000 以下 長さ 2000 以下 ・密 度 $27_{\pm 3}\sim 40_{\pm 5}\text{kg/m}^3$

(寸法単位:mm)

項 目	仕 様
⑤野地板 (つづき)	<p>(8)フェノールフォーム充てん/両面ポリエステルアルミニウム不織布裏張・エポキシ系樹脂塗装アルミニウムはく (国土交通大臣認定：NM-0636)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・厚 さ 12～66 ・寸 法 幅 1000 以下 長さ 2000 以下 ・密 度 $27_{\pm 3} \sim 40_{\pm 5} \text{kg/m}^3$ <p>(9)フェノールフォーム保温板充てん/両面エポキシ系樹脂塗装アルミニウム合金はく (国土交通大臣認定：NM-3815)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・厚 さ $19.76_{\pm 2} \sim 66_{\pm 7}$ ・寸 法 幅 1000 以下 長さ 2000 以下 ・密 度 $27_{\pm 3} \sim 40_{\pm 5} \text{kg/m}^3$ <p>[3]接着剤</p> <p>(1)～(4)のうち、いずれか一仕様とする</p> <p>(1)変成シリコン系接着剤</p> <ul style="list-style-type: none"> ・使 用 量 200g/m^2以下 <p>(2)エポキシ系接着剤</p> <ul style="list-style-type: none"> ・使 用 量 200g/m^2以下 <p>(3)酢酸ビニル系接着剤</p> <ul style="list-style-type: none"> ・使 用 量 200g/m^2以下 <p>(4)合成ゴムラテックス系接着剤</p> <ul style="list-style-type: none"> ・使 用 量 200g/m^2以下

2) 副構成材料

(寸法単位:mm)

項 目	仕 様
①留付ねじ	<p>[1]野地板用</p> <p>(1)～(4)のうち、いずれか一仕様とする</p> <p>(1)タッピンねじ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・規 格 JIS B 1122 ・寸 法 $\phi 4.0$ 以上$\times \ell 40$ 以上 ・間 隔 303 以下 <p>(2)ドリリングタッピンねじ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・規 格 JIS B 1125 ・寸 法 $\phi 4.0$ 以上$\times \ell 40$ 以上 ・間 隔 303 以下 <p>(3)リーマ付ビス</p> <ul style="list-style-type: none"> ・寸 法 $\phi 4.0$ 以上$\times \ell 40$ 以上 ・間 隔 303 以下 <p>(4)ねじ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・材 質 <p>1)、2)のうち、いずれか一仕様とする。</p> <p>1)ステンレス鋼製</p> <p>2)鋼製</p> <ul style="list-style-type: none"> ・寸 法 $\phi 4.0$ 以上$\times \ell 40$ 以上 ・間 隔 303 以下 <p>[2]屋根葺材用</p> <p>(1)、(2)のうち、いずれか一仕様とする。</p> <p>(1)タッピンねじ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・規 格 JIS B 1115 ・寸 法 $\phi 4.0$ 以上$\times \ell 30$ 以上 ・間 隔 500 以下 <p>(2)ねじ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・材 質 <p>1)、2)のうち、いずれか一仕様とする。</p> <p>1)ステンレス鋼製</p> <p>2)鋼製</p> <ul style="list-style-type: none"> ・寸 法 $\phi 4.0$ 以上$\times \ell 30$ 以上 ・間 隔 500 以下
②防水紙	<p>(1)～(7)のうち、いずれか一仕様とする</p> <p>(1)アスファルトルーフィング 940</p> <ul style="list-style-type: none"> ・規 格 JIS A 6005 <p>(2)アスファルトフェルト</p> <ul style="list-style-type: none"> ・規 格 JIS A 6005 ・単位面積質量 430～650g/m² 以下 <p>(3)合成高分子系ルーフィングシート</p> <ul style="list-style-type: none"> ・規 格 JIS A 6008 ・単位面積質量 940g/m² 以下 <p>(4)改質アスファルトルーフィングシート</p> <ul style="list-style-type: none"> ・規 格 JIS A 6013 ・単位面積質量 940g/m² 以下

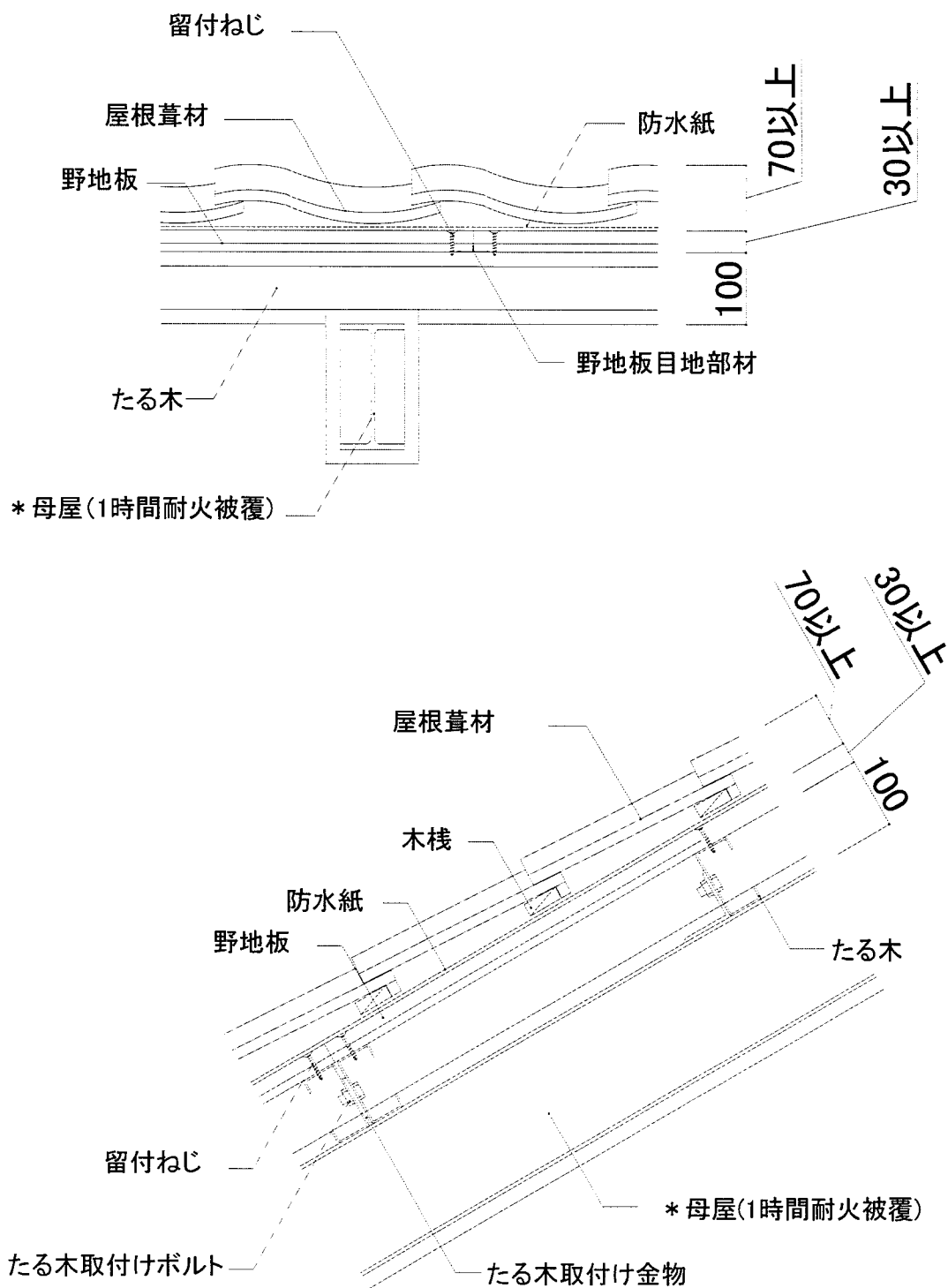
(寸法単位:mm)

項 目	仕 様
②防水紙 (つづき)	(5)改質アスファルトルーフィング下葺材 <ul style="list-style-type: none"> ・規 格 JWMA 規格 ARK04^S-04 ・単位面積質量 940g/m² 以下 (6)改質アスファルトフェルト <ul style="list-style-type: none"> ・規 格 JWMA 規格 ARK14^R-04 ・単位面積質量 940g/m² 以下 (7)透湿防水シート <ul style="list-style-type: none"> ・規 格 JIS A 6111 ・単位面積質量 940g/m² 以下
③野地板目地部材	(1)、(2)のうち、いずれか一仕様とする (1)なし (2)金属ジョイナー <ul style="list-style-type: none"> ・材 料：屋根葺材(3)-1)～9)、16)～29)と同じ ・厚 さ：0.27 以上 ・形 状：T 型 ・高 さ：野地板〔2〕フェノールフォーム保温板の厚さ以下
④たる木取付け金物	一般構造用圧延鋼材 <ul style="list-style-type: none"> ・規格 JIS G 3101 ・寸法 L-75×75×6 の断面寸法以上 ・寸法 FB-6×75×75 の断面寸法以上(たる木ダブル部位仕様)
⑤たる木取付けボルト	<ul style="list-style-type: none"> ・規格 JIS B 1180 ・寸法 M12 以上×ℓ25 以上
⑥金属板の葺き方	(1)～(9)のうち、いずれか一仕様とする (1)平葺 <ul style="list-style-type: none"> ・金属板の形状 別添-34 参照 (2)たて平葺 <ul style="list-style-type: none"> ・金属板の形状 別添-34 参照 (3)かわら棒葺 <ul style="list-style-type: none"> ・金属板の形状 別添-34 参照 (4)段葺 <ul style="list-style-type: none"> ・金属板の形状 別添-34 参照 (5)横葺 <ul style="list-style-type: none"> ・金属板の形状 別添-35 参照 (6)金属がわら葺 <ul style="list-style-type: none"> ・金属板の形状 別添-35 参照 (7)平滑葺 <ul style="list-style-type: none"> ・金属板の形状 別添-35 参照 (8)折板葺 <ul style="list-style-type: none"> ・金属板の形状 別添-35 参照 (9)なし

4. 構造説明図

粘土がわら・プレスセメントがわらの場合

(寸法単位：mm)

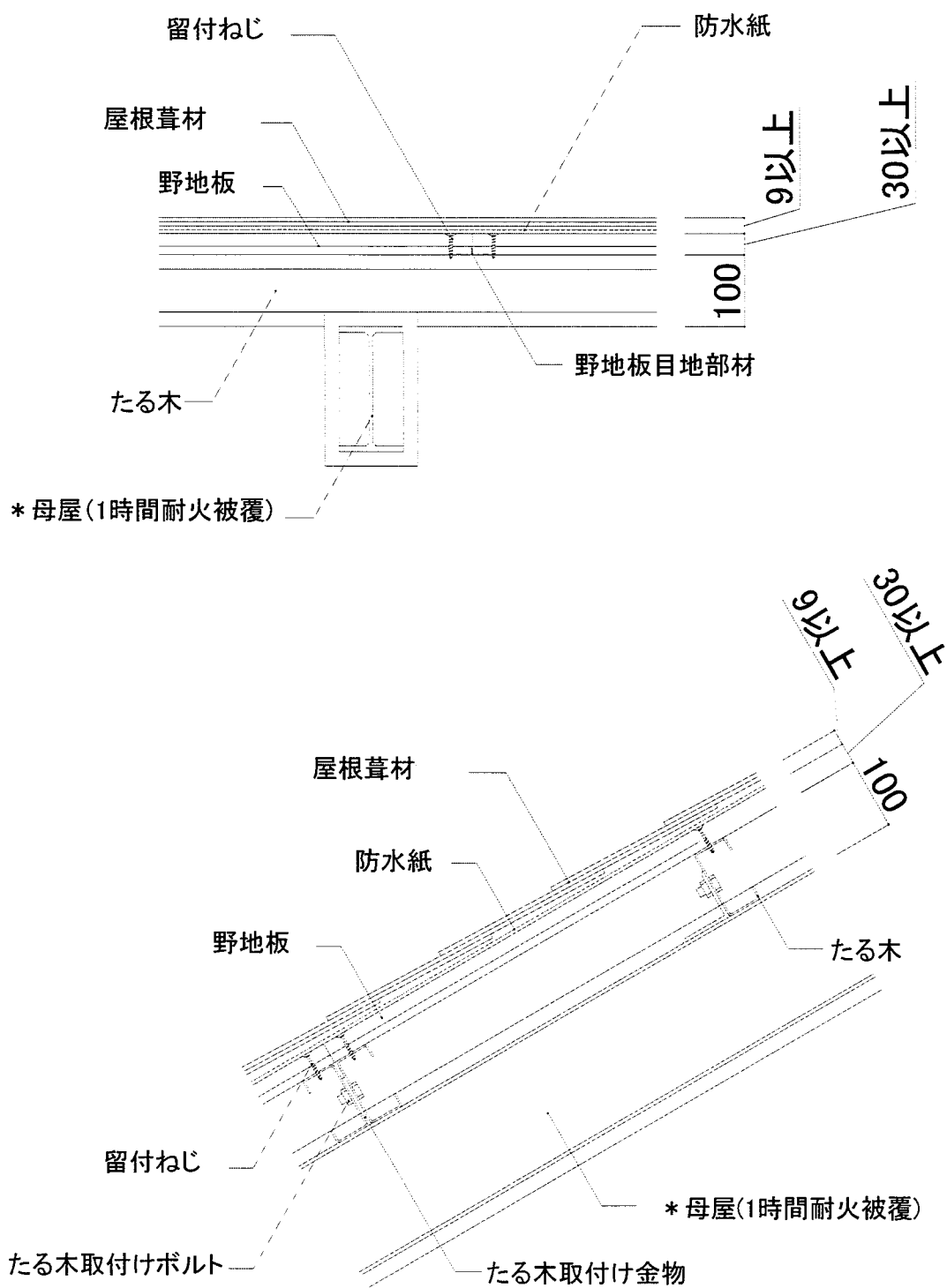


注) 寸法および材料構成は 2 および 3 のとおり

※：本評価内容に含まない

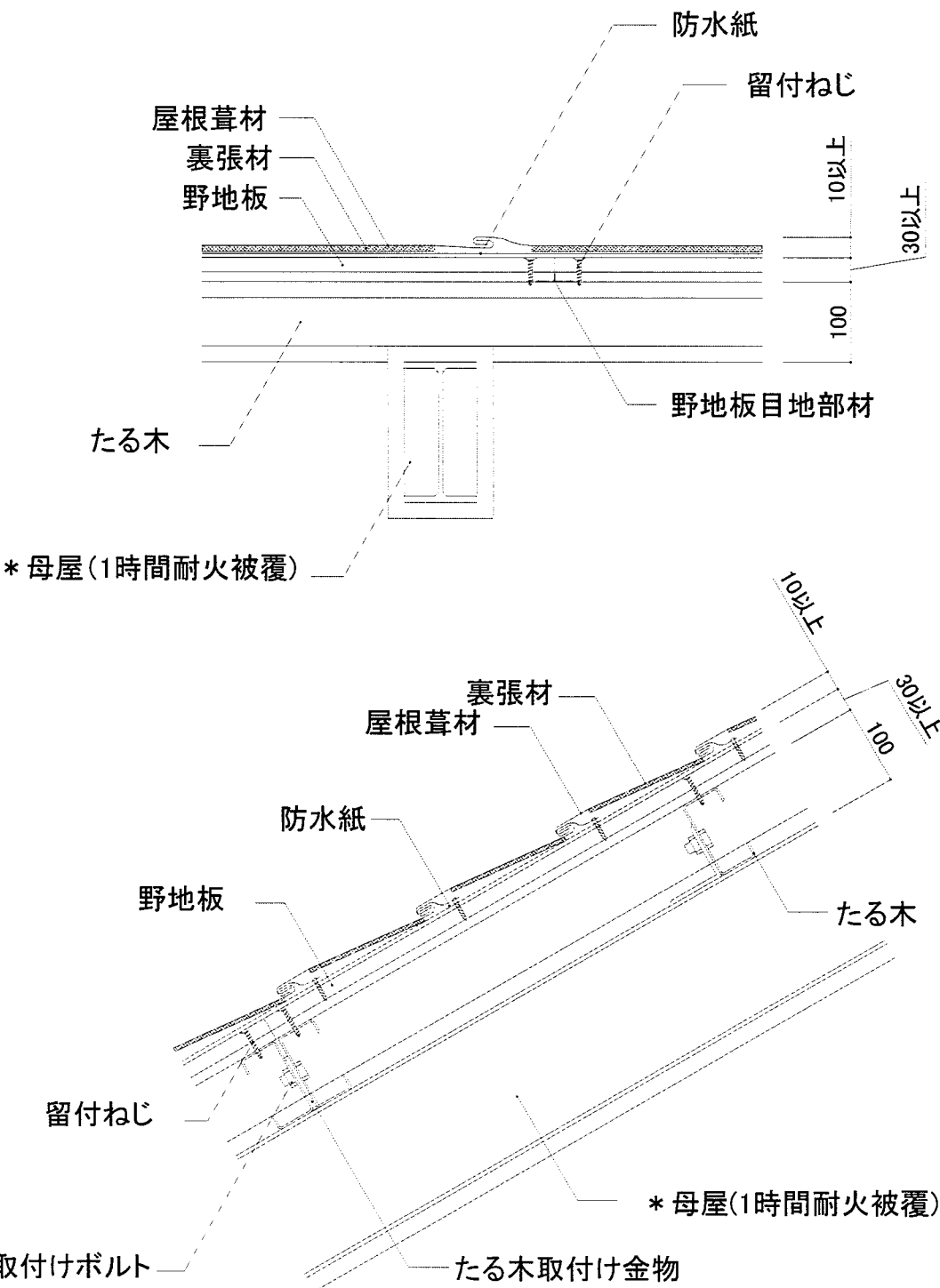
住宅屋根化粧スレートの場合

(寸法単位：mm)



注) 寸法および材料構成は2および3のとおり

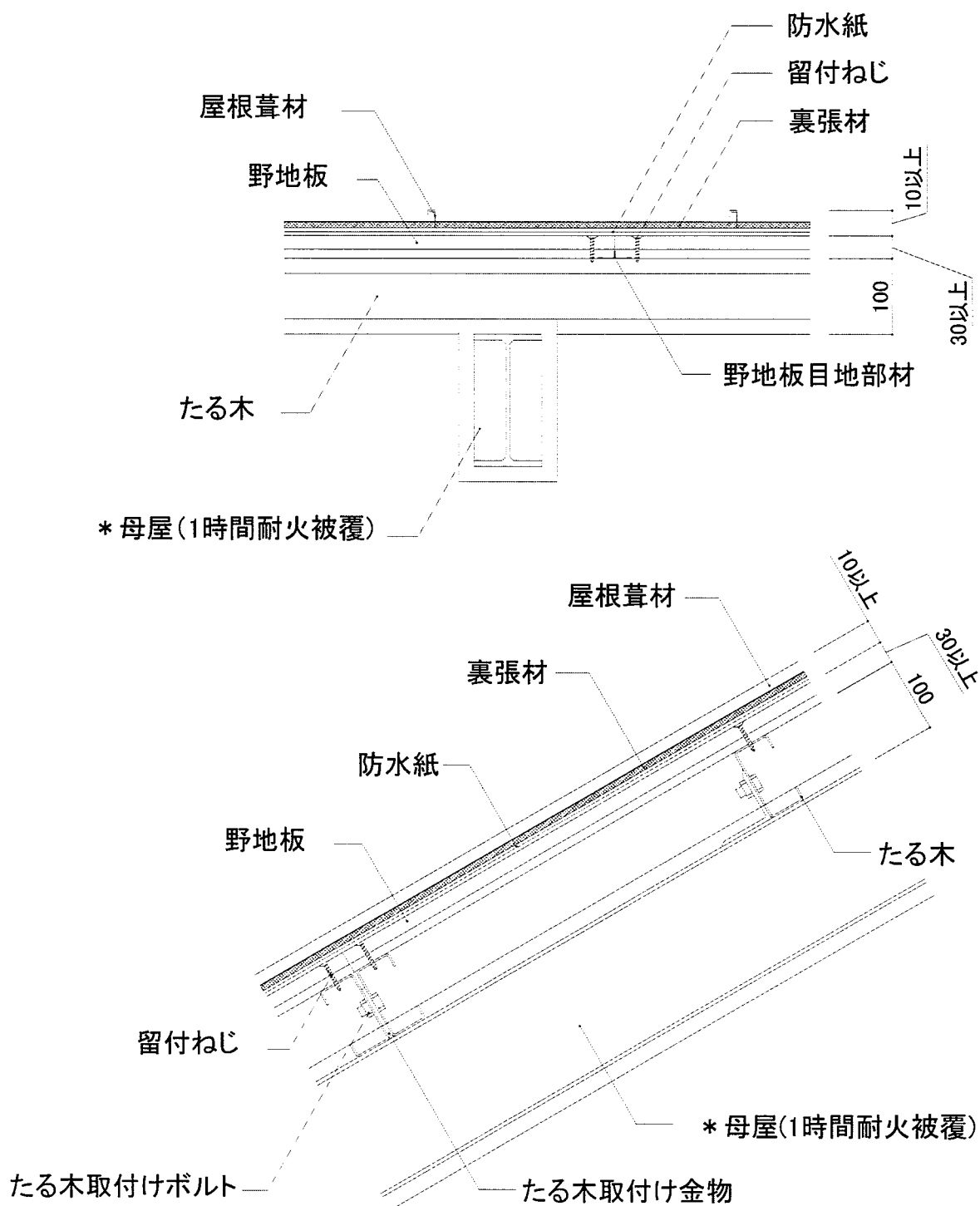
*: 本評価内容に含まない



注) 寸法および材料構成は 2 および 3 のとおり
*: 本評価内容に含まない

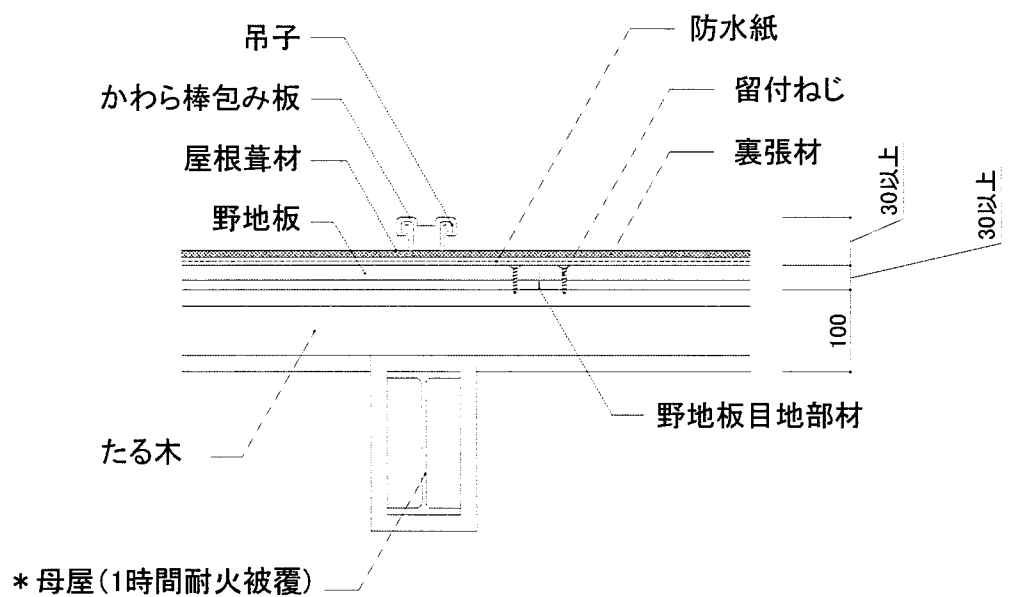
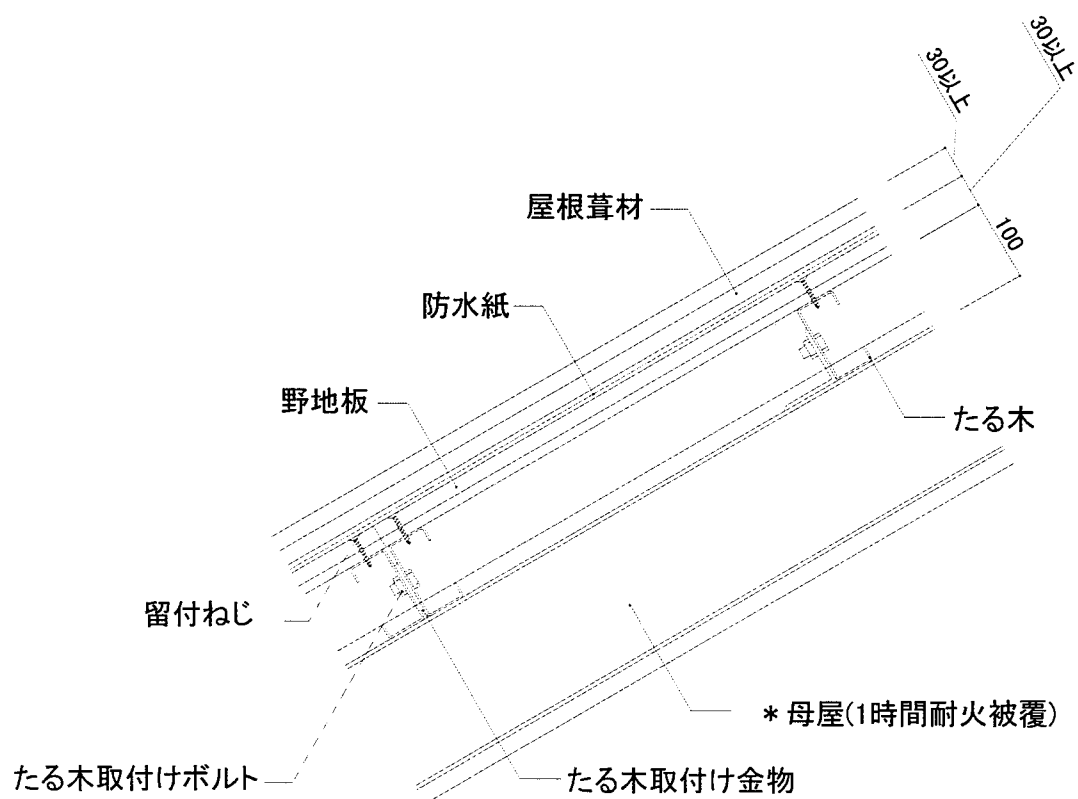
金属板の場合（たて平葺）

（寸法単位：mm）



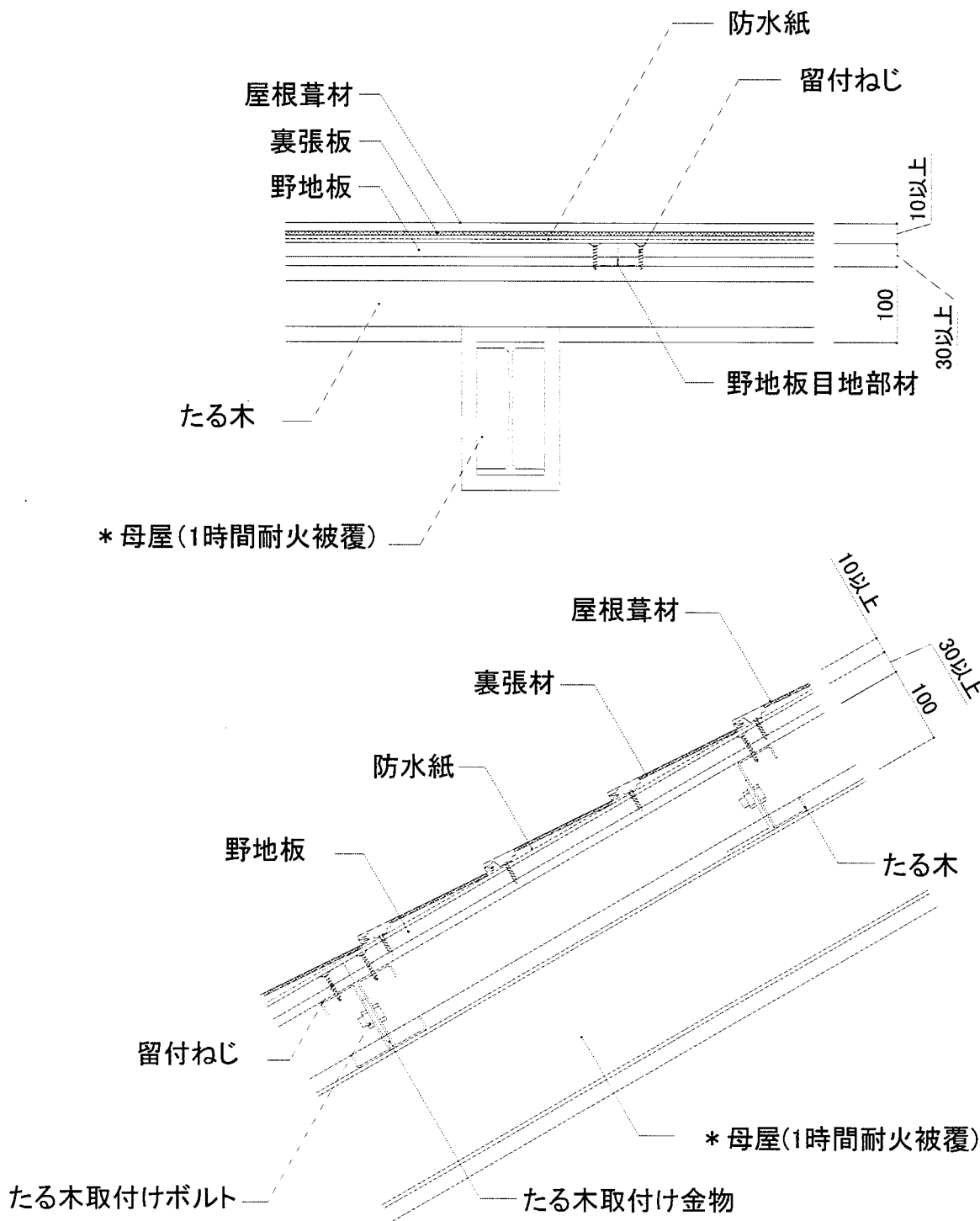
注) 寸法および材料構成は2および3のとおり

*: 本評価内容に含まない



注) 寸法および材料構成は2および3のとおり

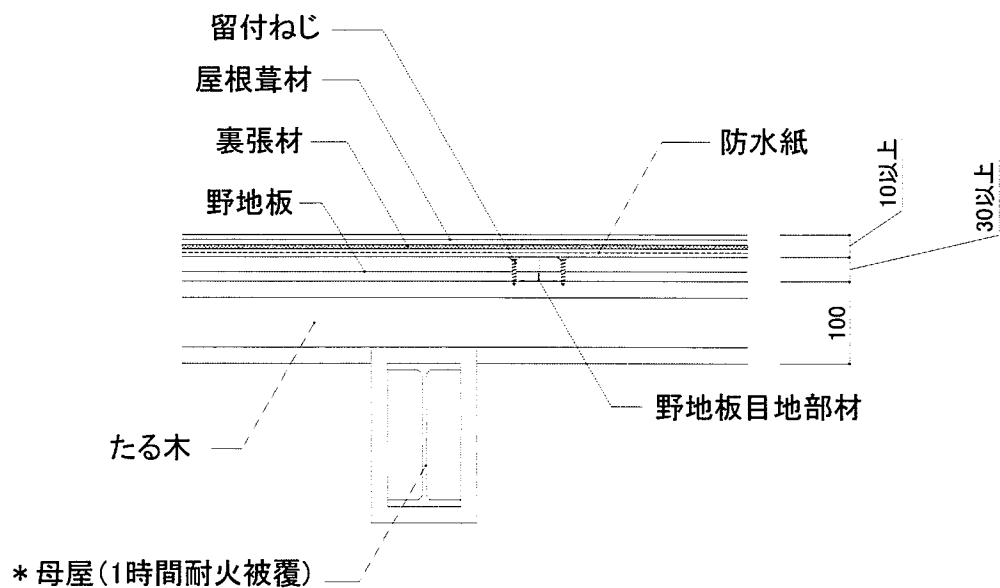
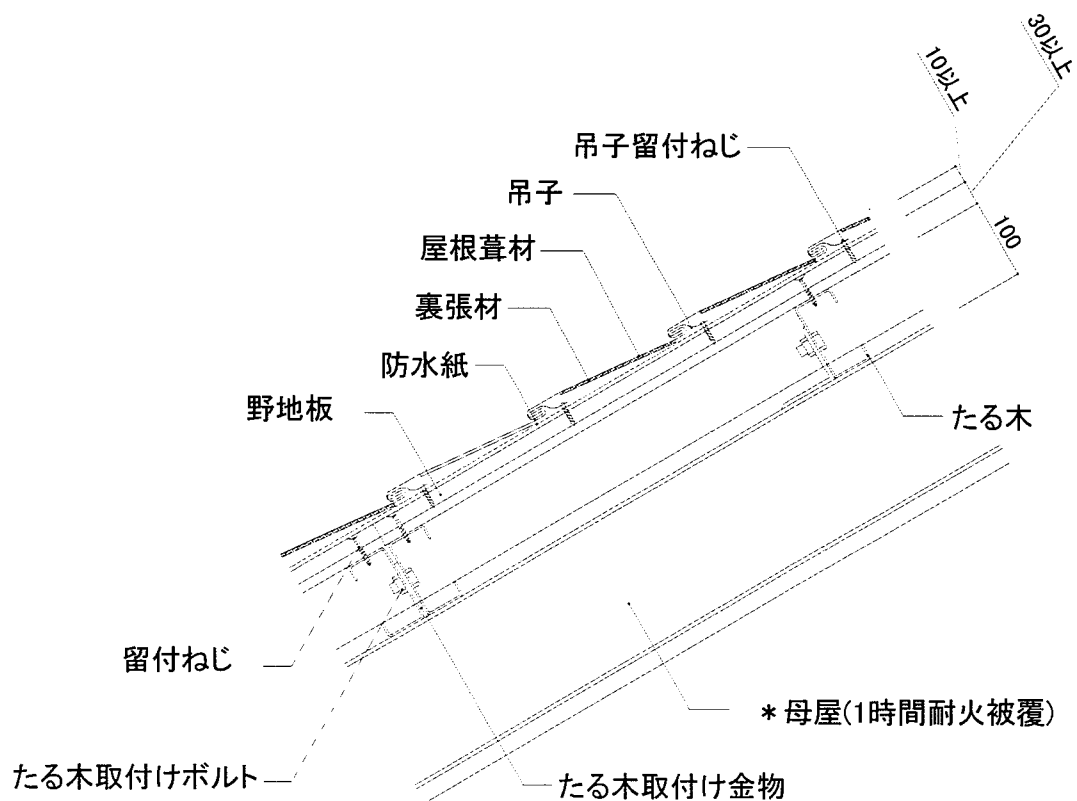
*: 本評価内容に含まない



注) 寸法および材料構成は 2 および 3 のとおり
*: 本評価内容に含まない

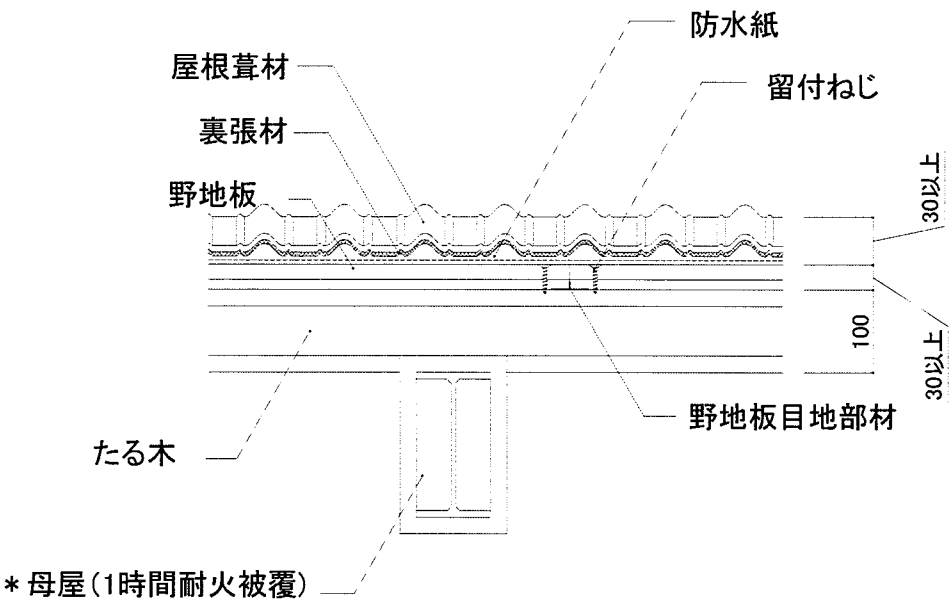
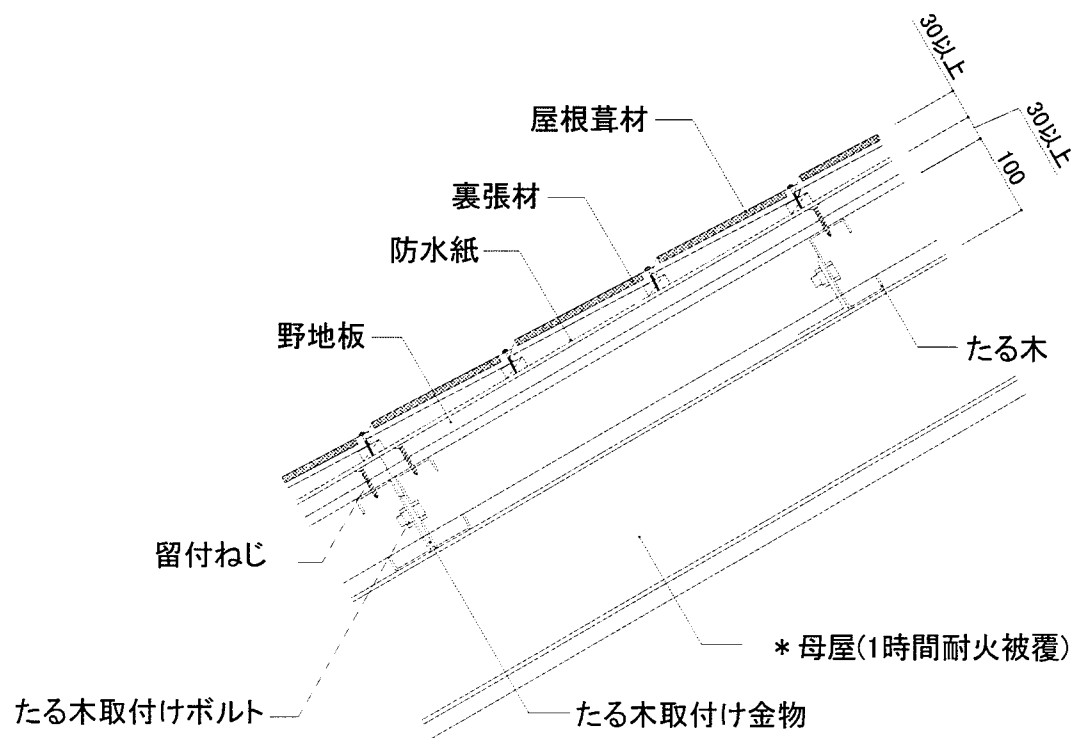
金属板の場合（横葺）

（寸法単位：mm）

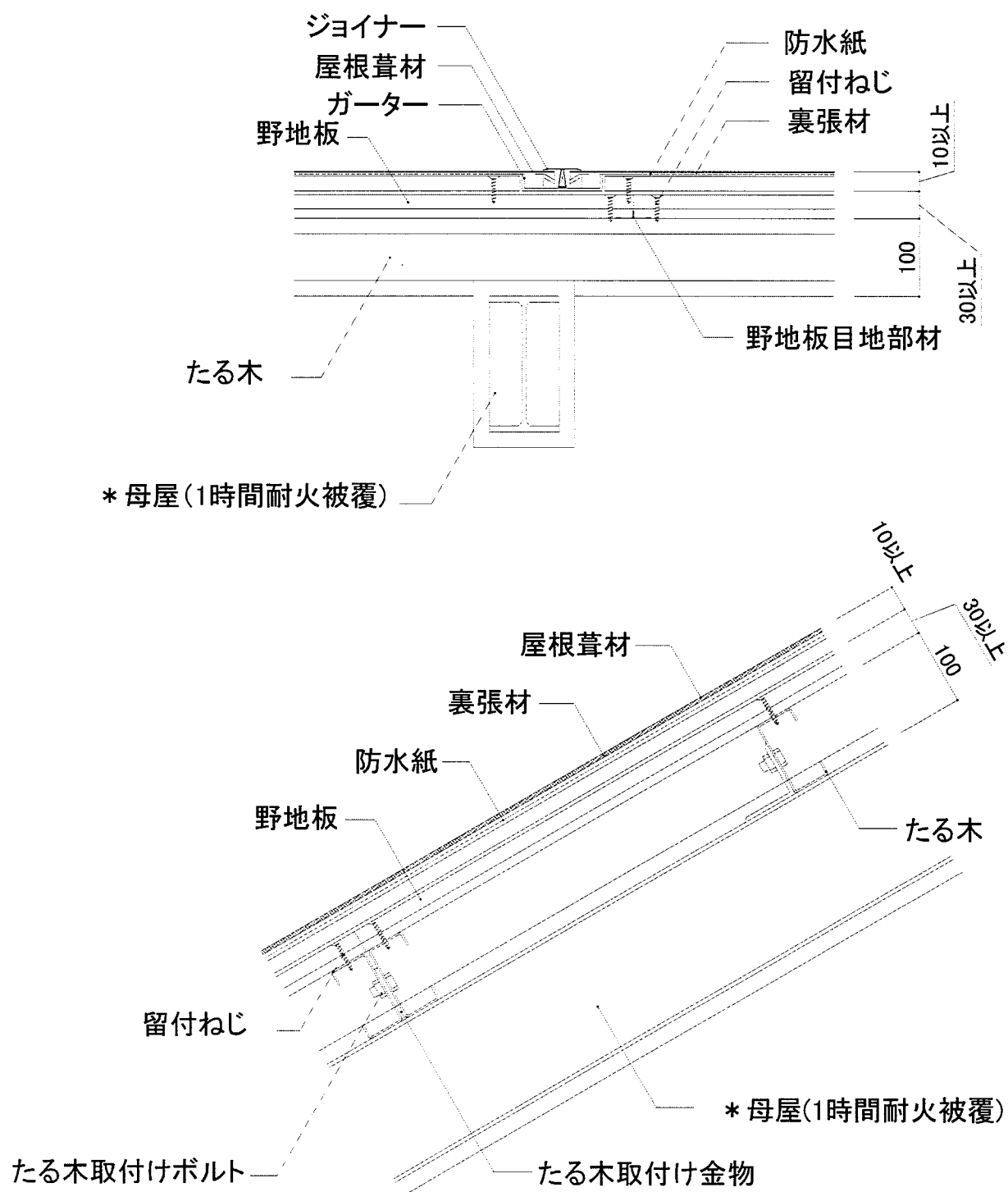


注) 寸法および材料構成は2および3のとおり

*: 本評価内容に含まない



注) 寸法および材料構成は 2 および 3 のとおり
*: 本評価内容に含まない

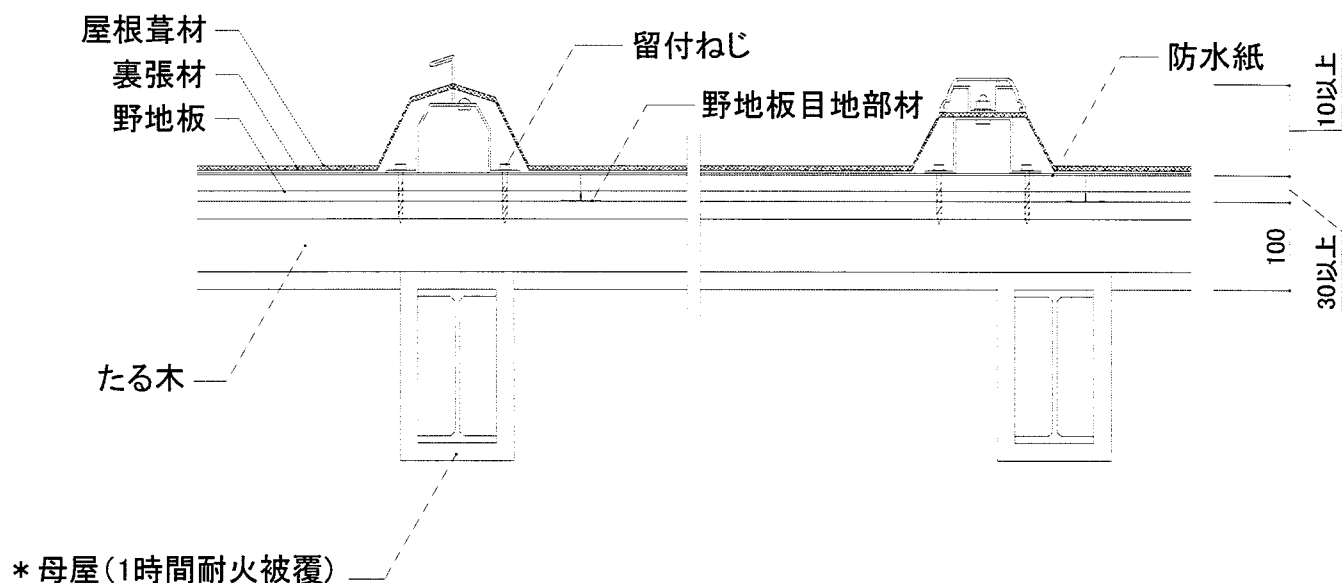
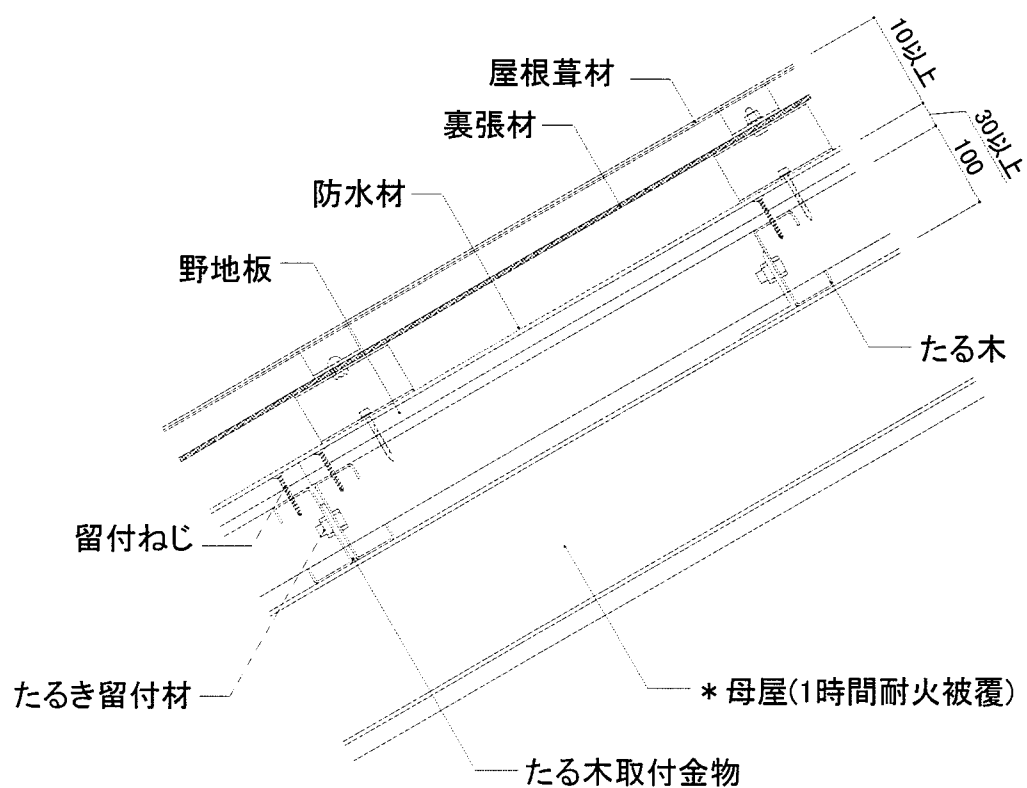


注) 寸法および材料構成は 2 および 3 のとおり

*: 本評価内容に含まない

金属板の場合（折板葺）

（寸法単位：mm）



注) 寸法および材料構成は 2 および 3 のとおり

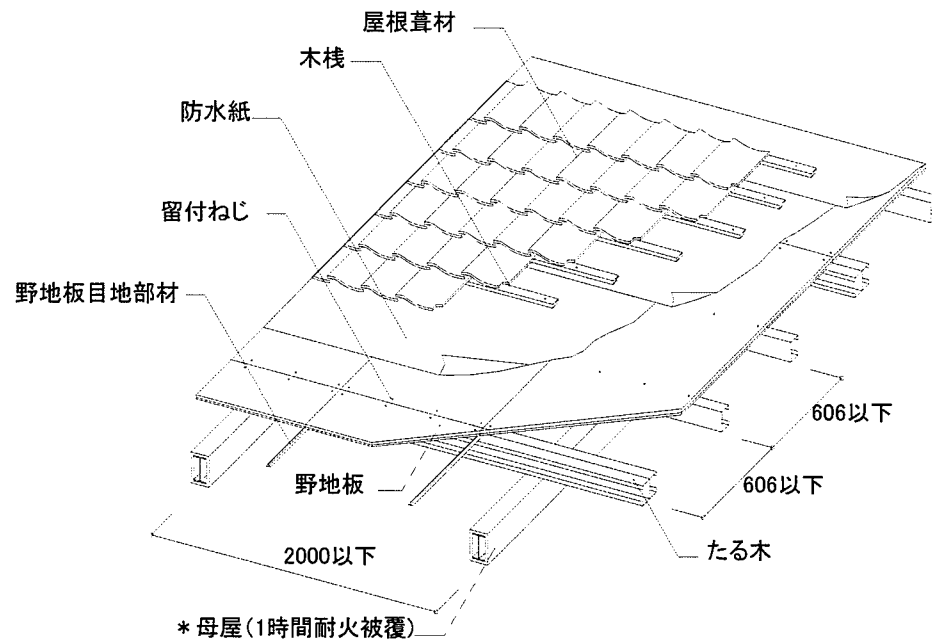
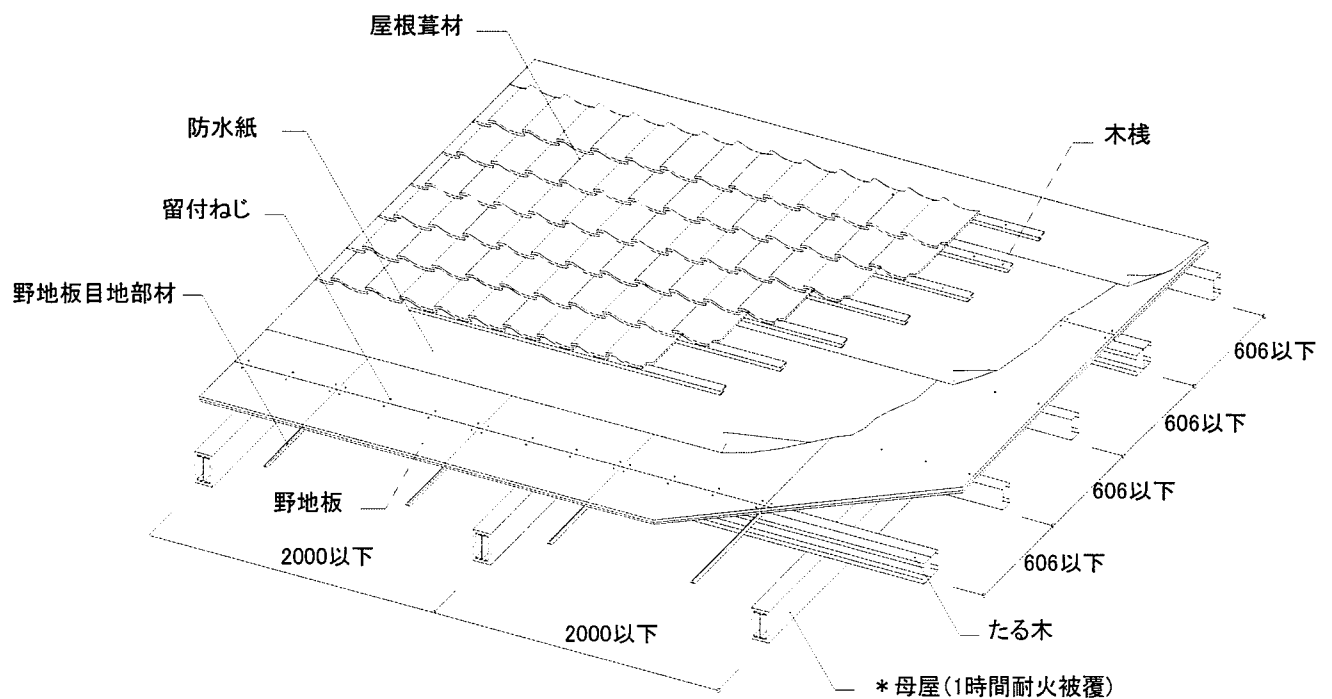
*: 本評価内容に含まない

5. 施工方法等

<施工図>

粘土がわら・プレスセメントがわらの場合

(寸法単位：mm)

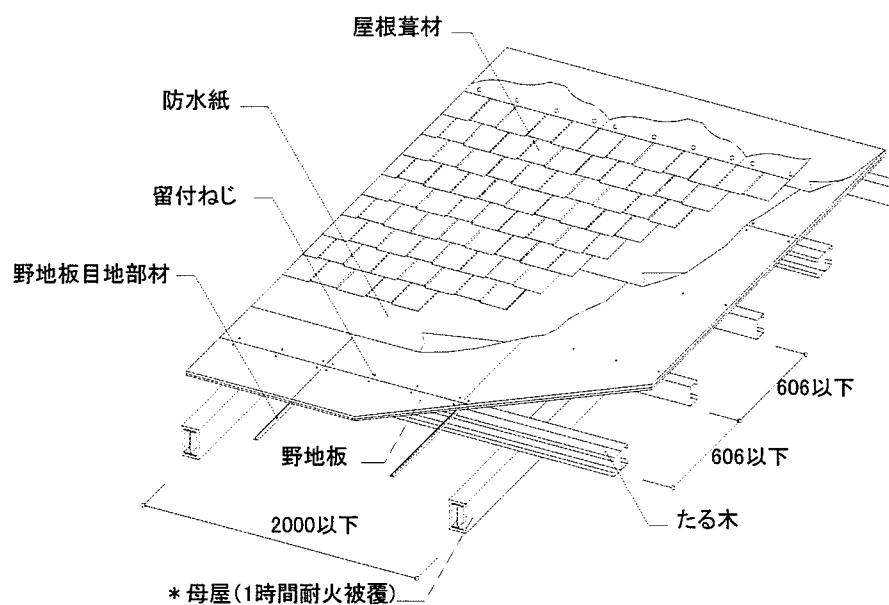
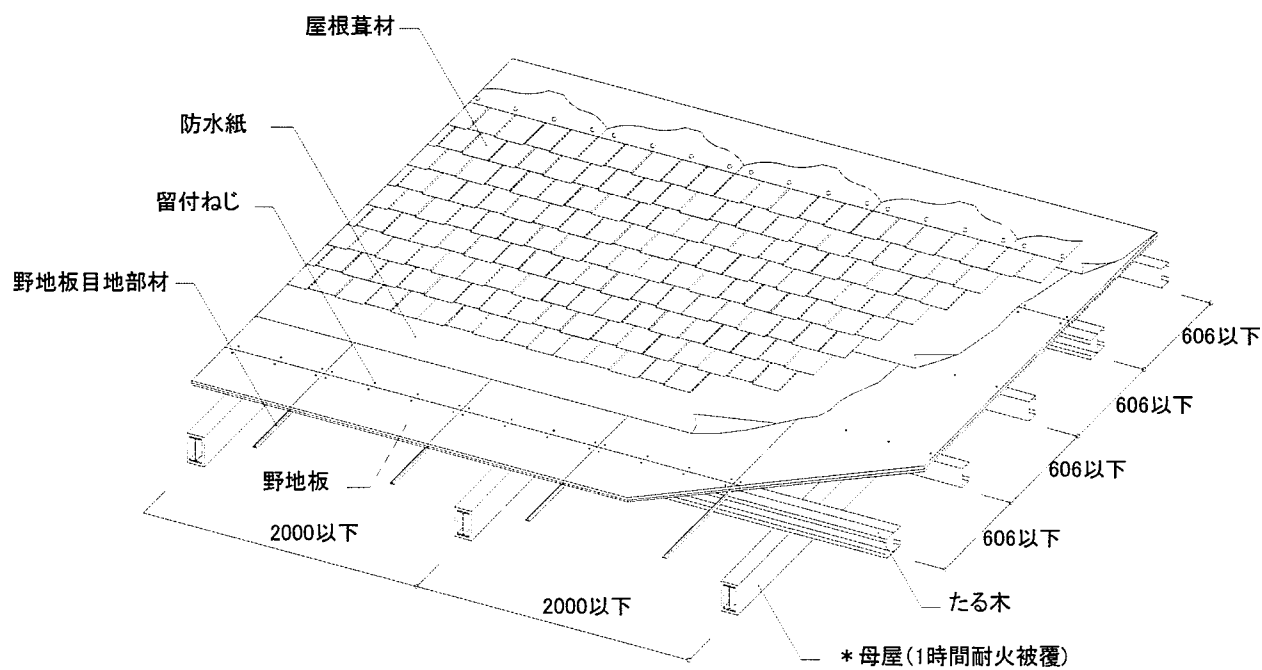


注) 寸法および材料構成は2および3のとおり

*: 本評価内容に含まない

住宅屋根用化粧スレートの場合

(寸法単位：mm)

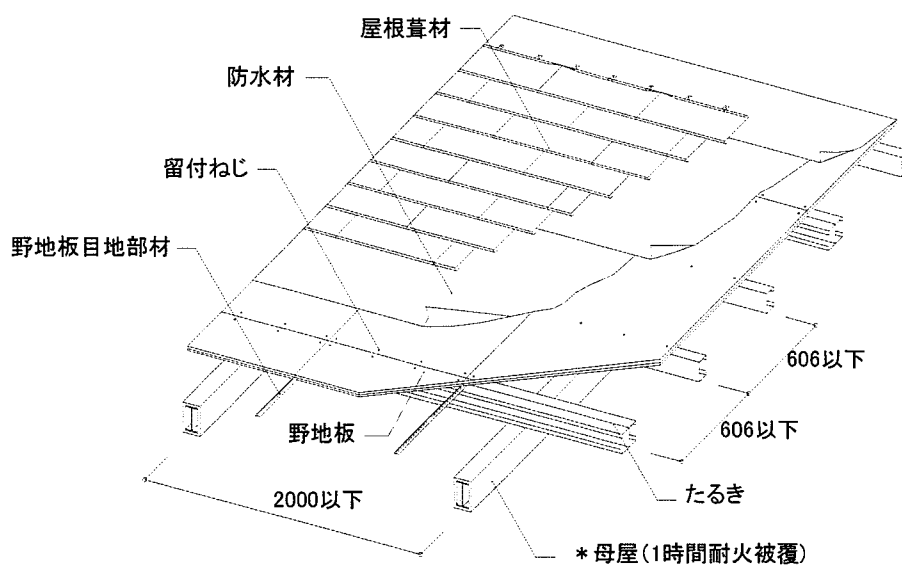
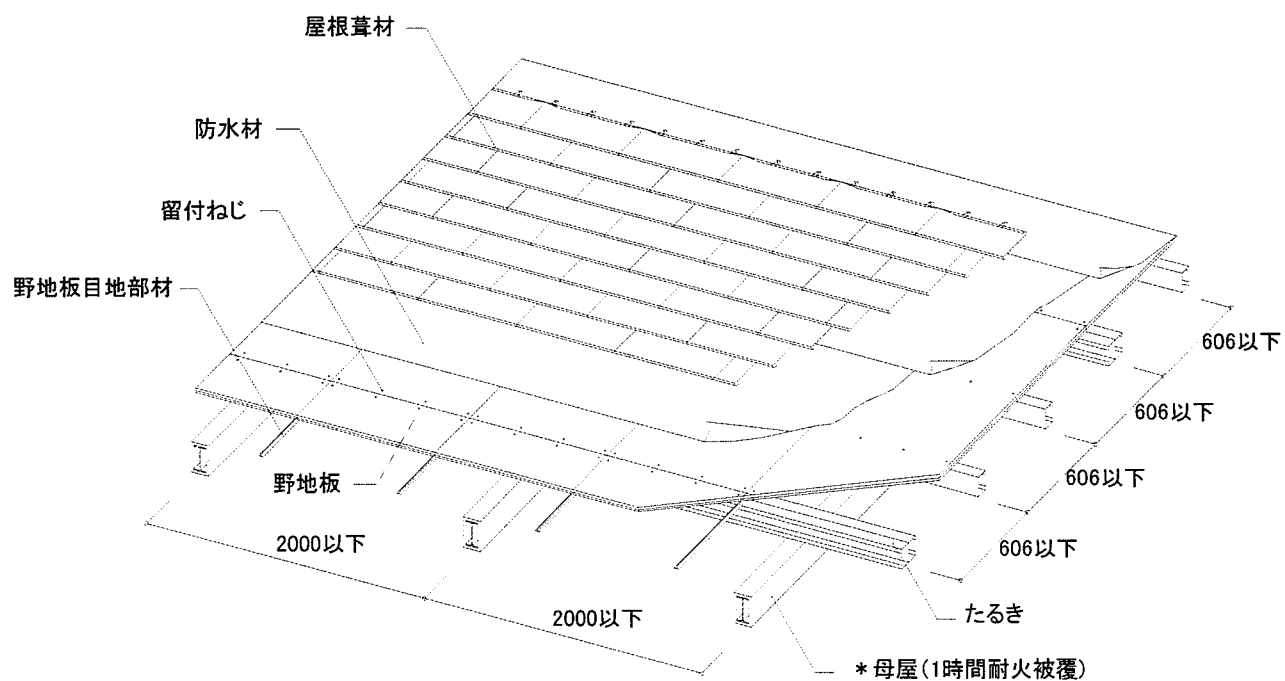


注) 寸法および材料構成は 2 および 3 のとおり

*: 本評価内容に含まない

金属板の場合（平葺）

（寸法単位：mm）

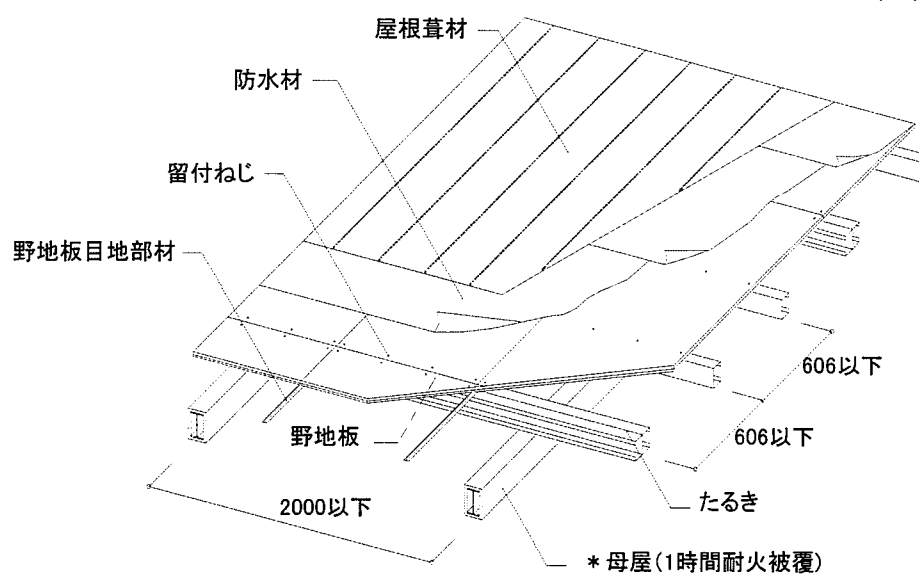
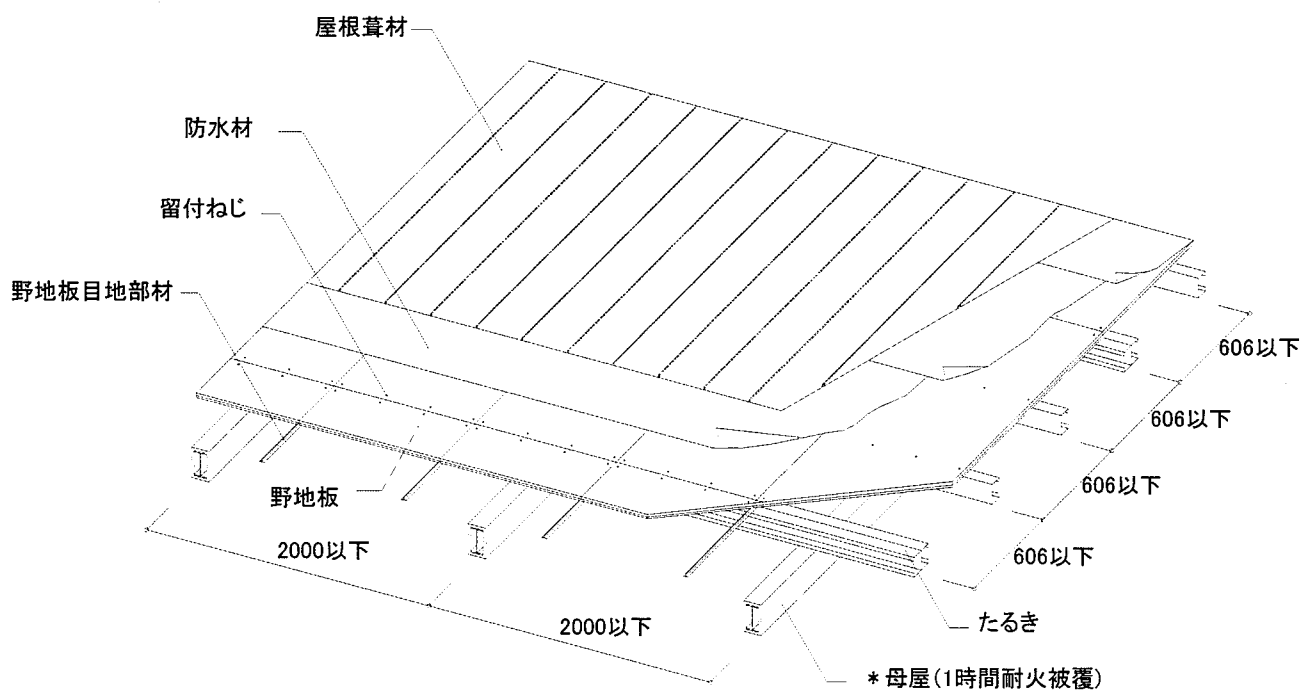


注) 寸法および材料構成は2および3のとおり

*: 本評価内容に含まない

金属板の場合 (たて平葺)

(寸法単位: mm)

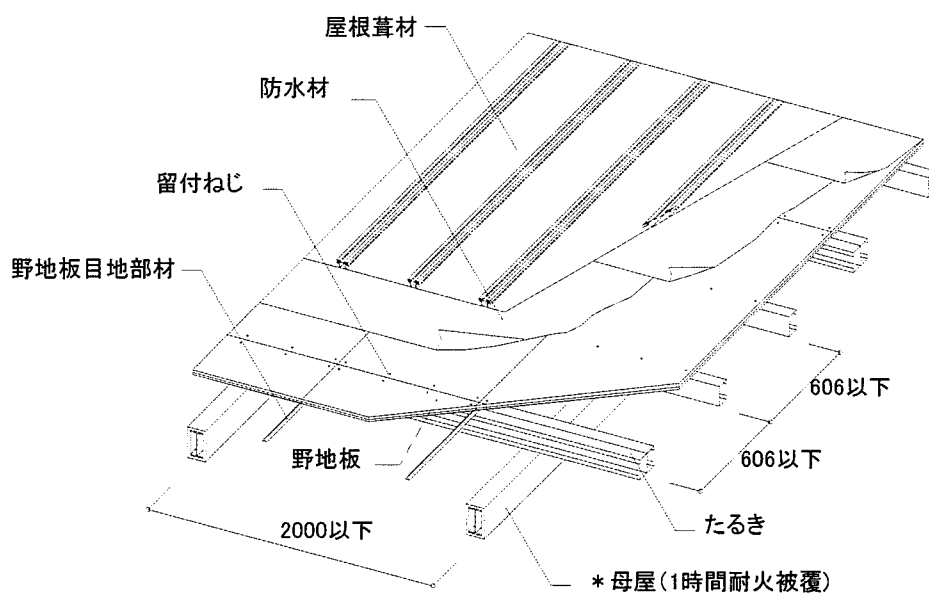
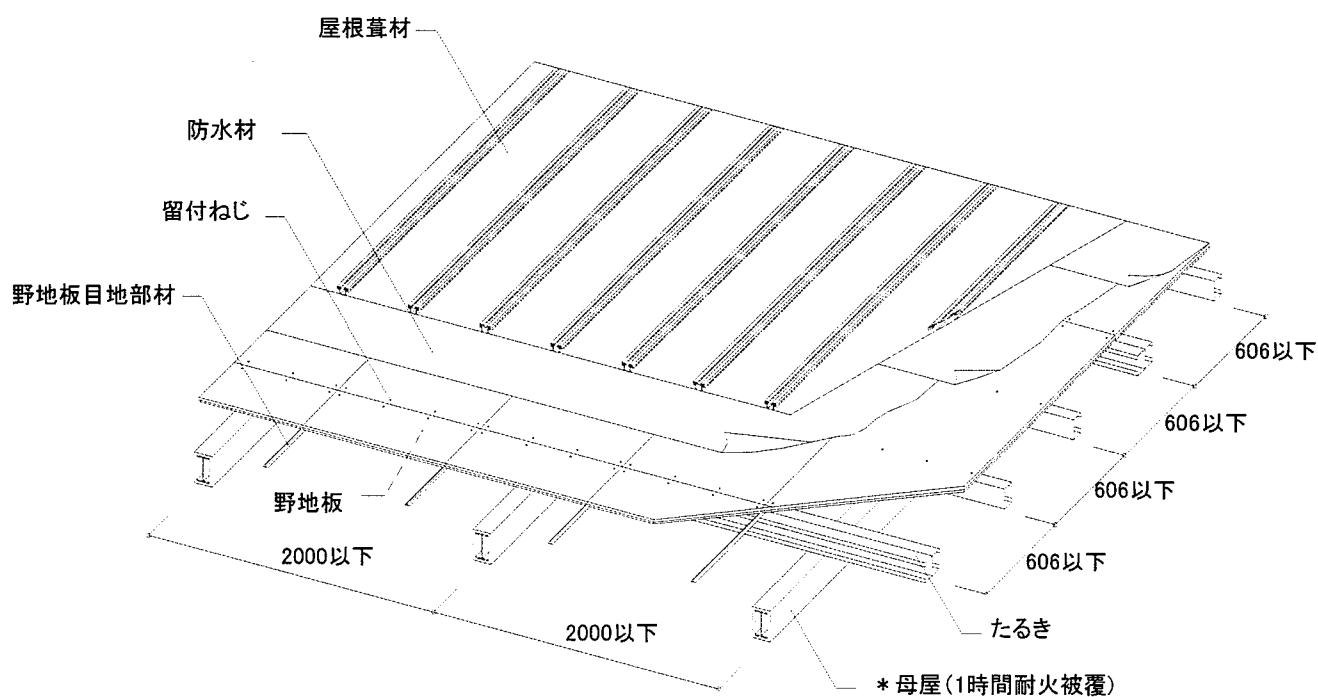


注) 寸法および材料構成は2および3のとおり

*: 本評価内容に含まない

金属板の場合（かわら棒葺）

（寸法単位：mm）

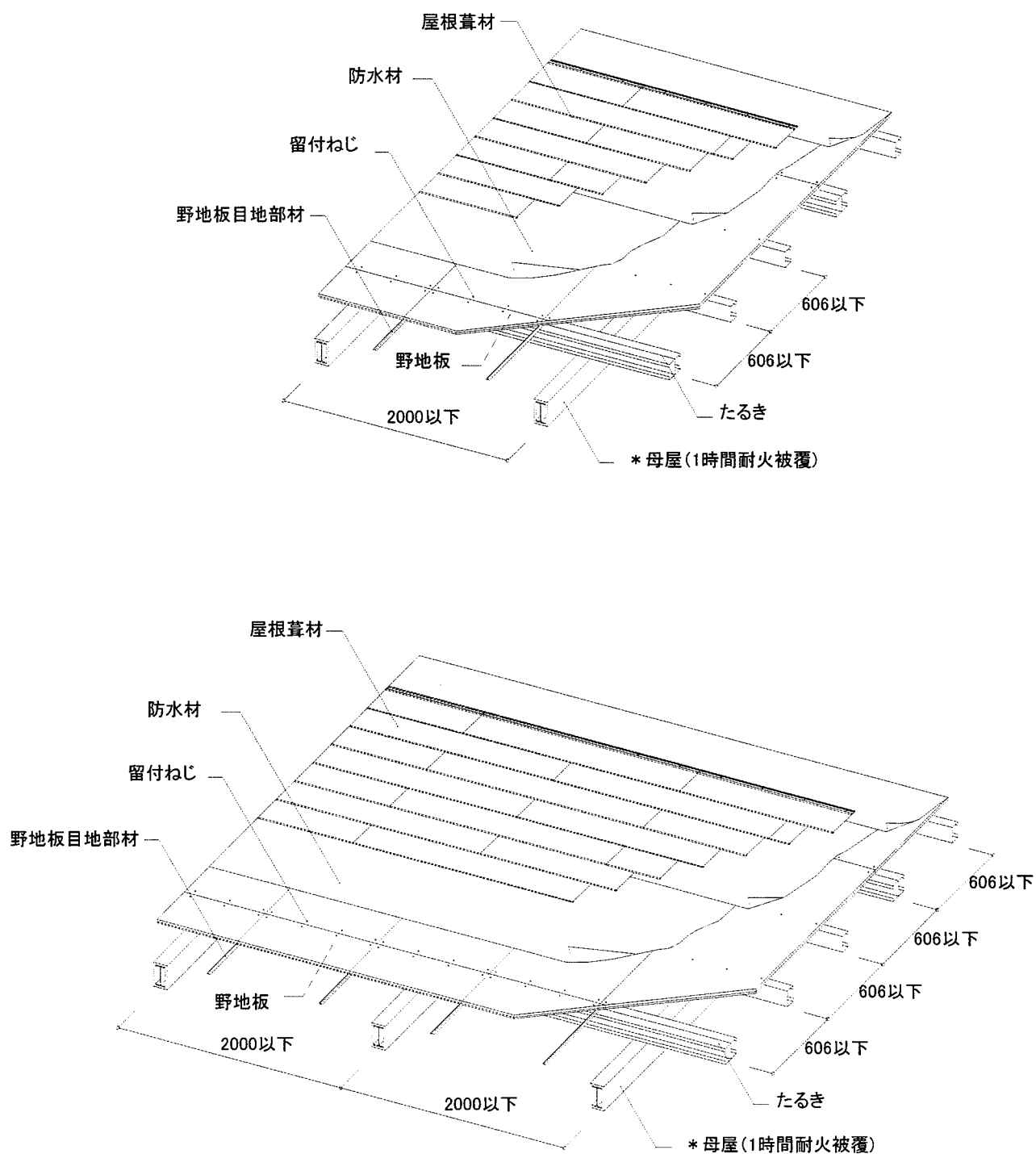


注) 寸法および材料構成は 2 および 3 のとおり

*: 本評価内容に含まない

金属板の場合（段葺）

（寸法単位：mm）

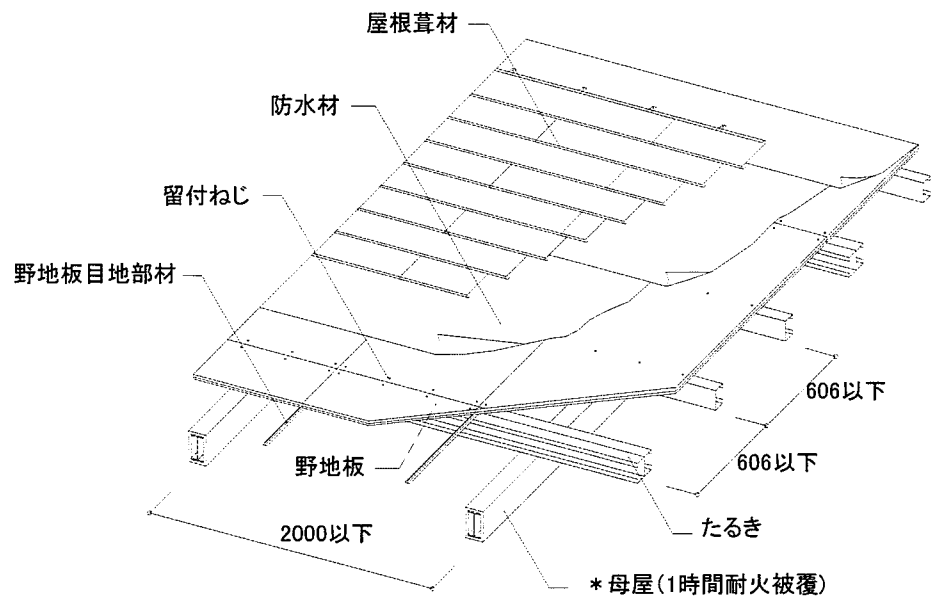
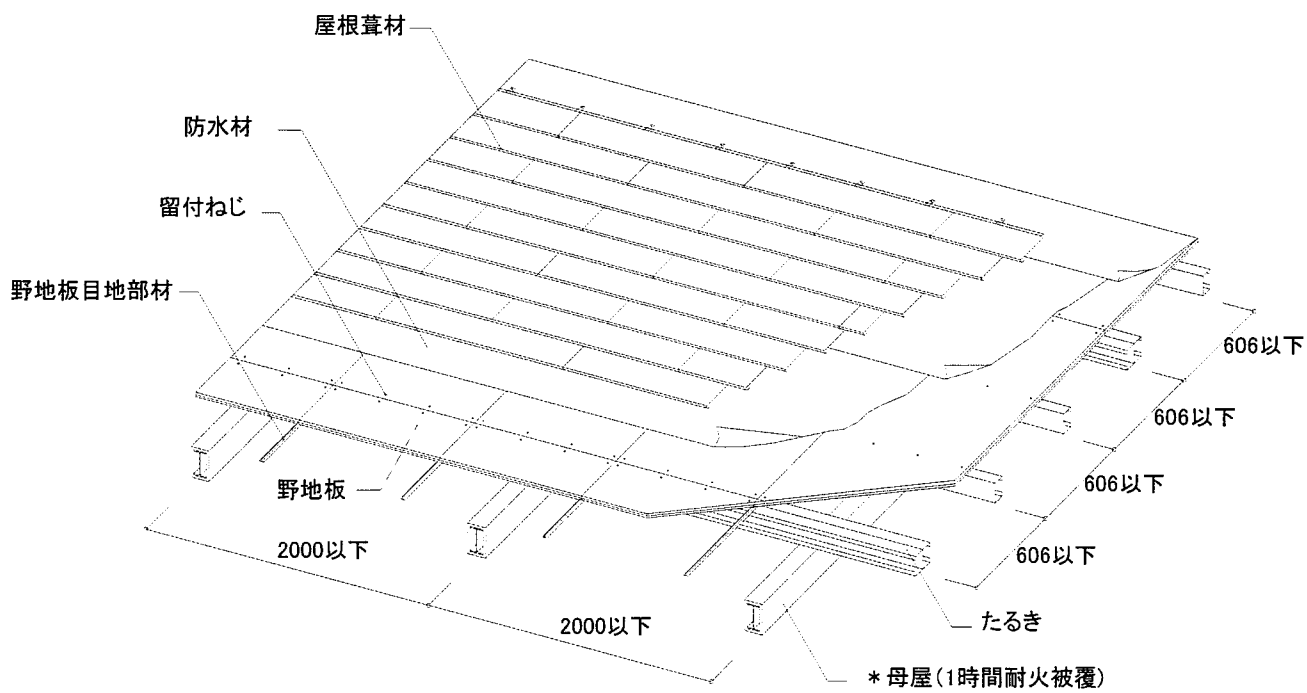


注) 寸法および材料構成は 2 および 3 のとおり

*: 本評価内容に含まない

金属板の場合（横葺）

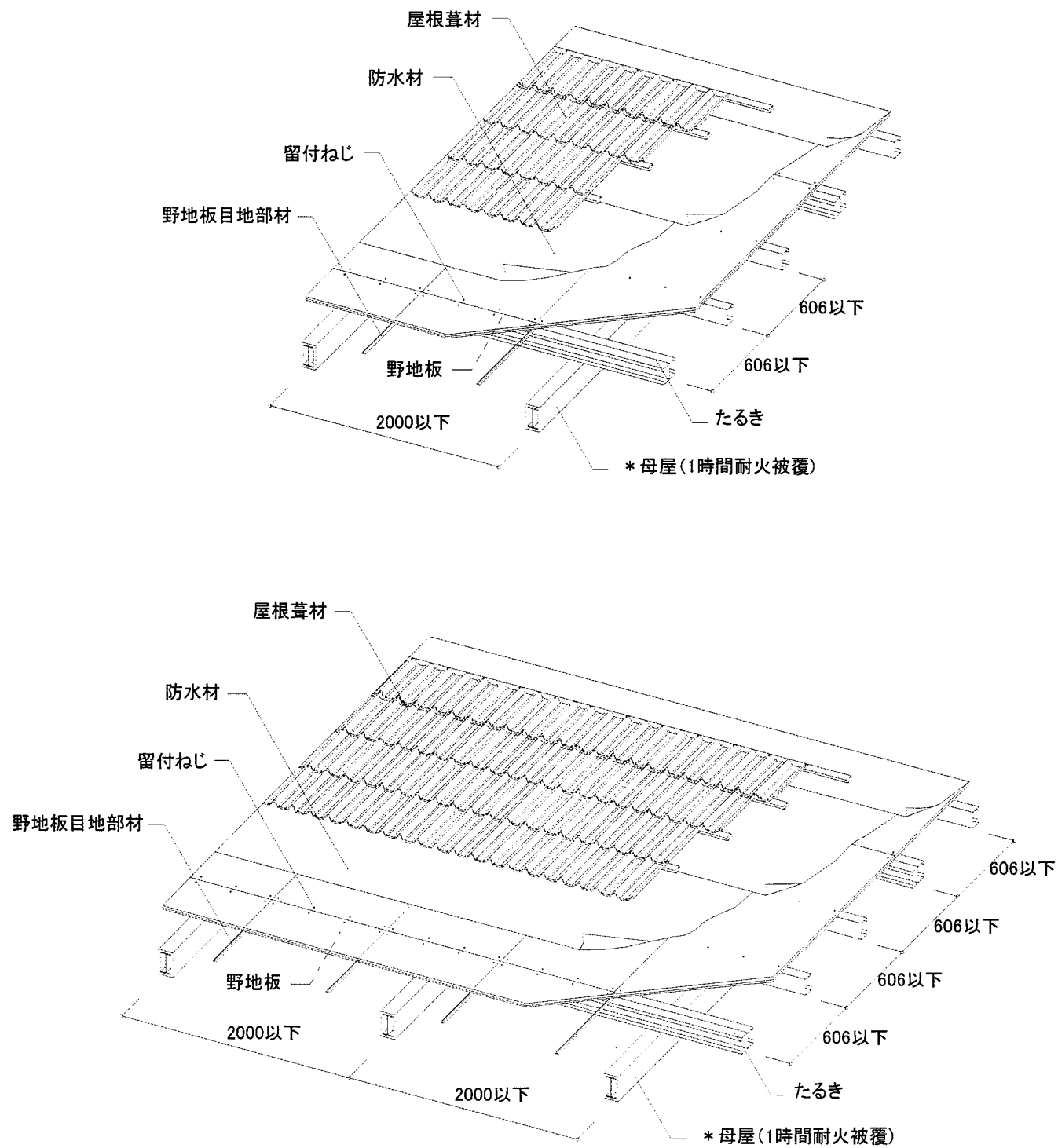
（寸法単位：mm）



注) 寸法および材料構成は 2 および 3 のとおり
*: 本評価内容に含まない

金属板の場合（金属がわら葺）

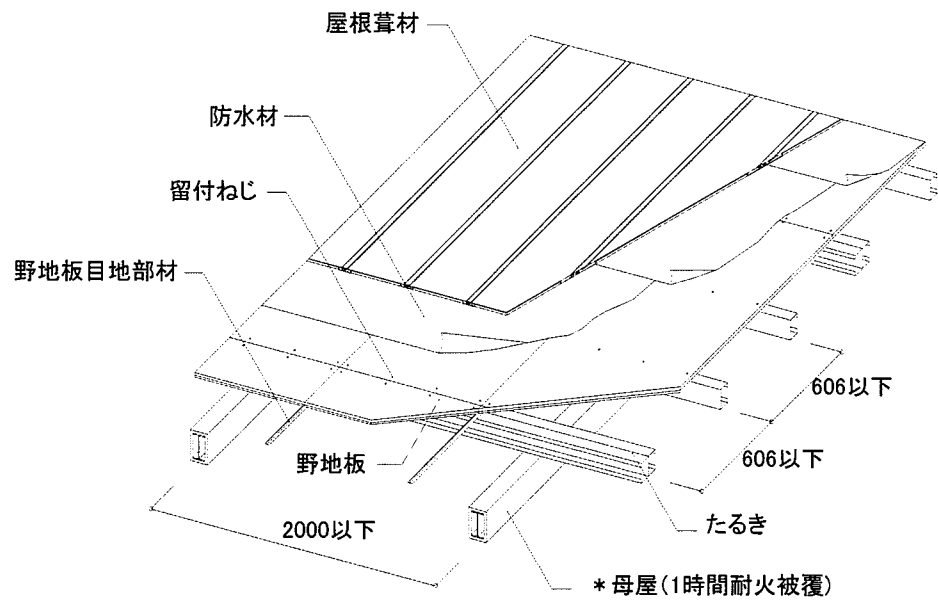
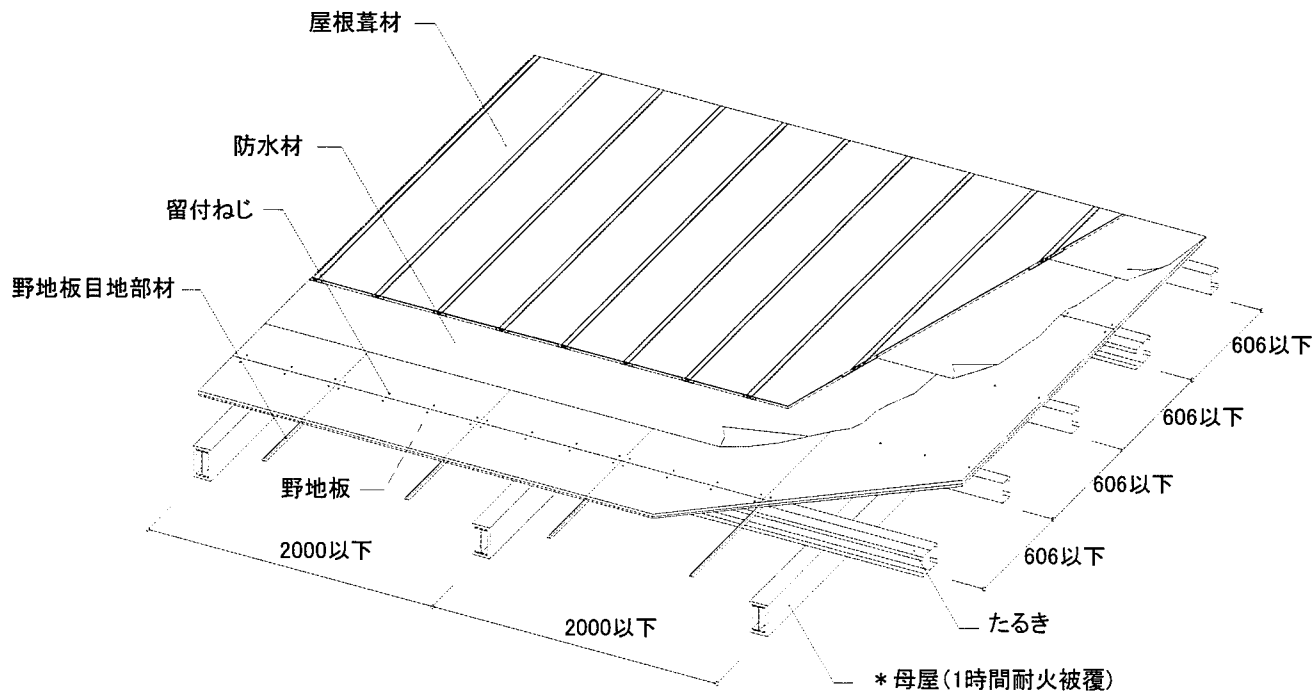
（寸法単位：mm）



注) 寸法および材料構成は 2 および 3 のとおり
*: 本評価内容に含まない

金属板の場合（平滑葺）

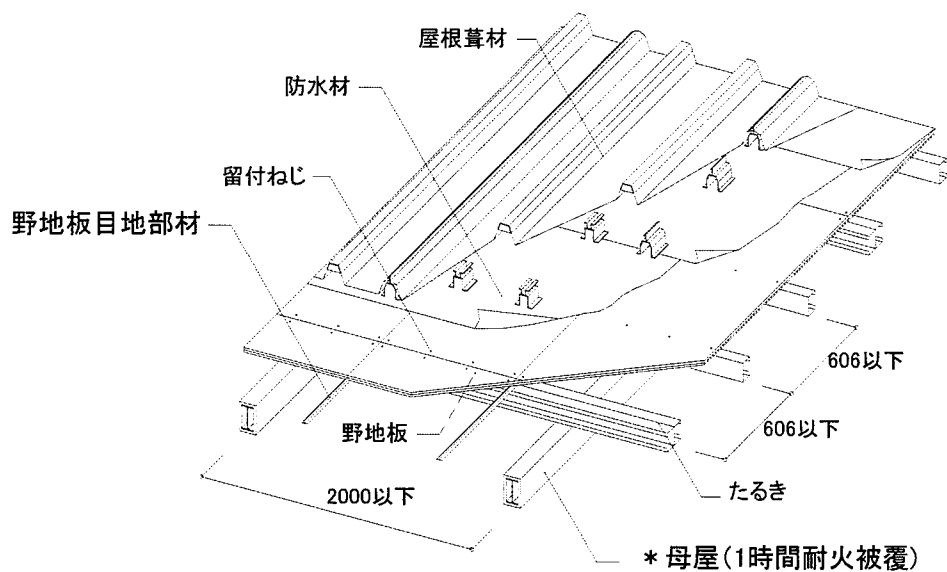
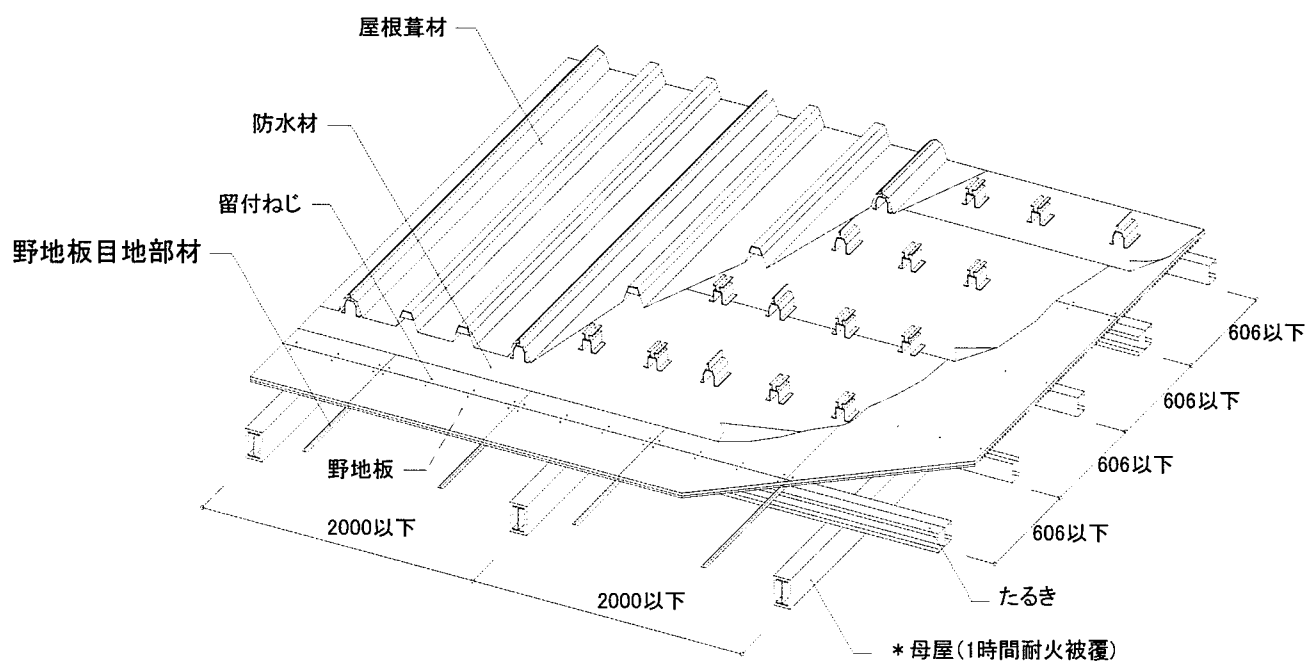
（寸法単位：mm）



注) 寸法および材料構成は 2 および 3 のとおり
*: 本評価内容に含まない

金属板の場合（折板葺）

（寸法単位：mm）



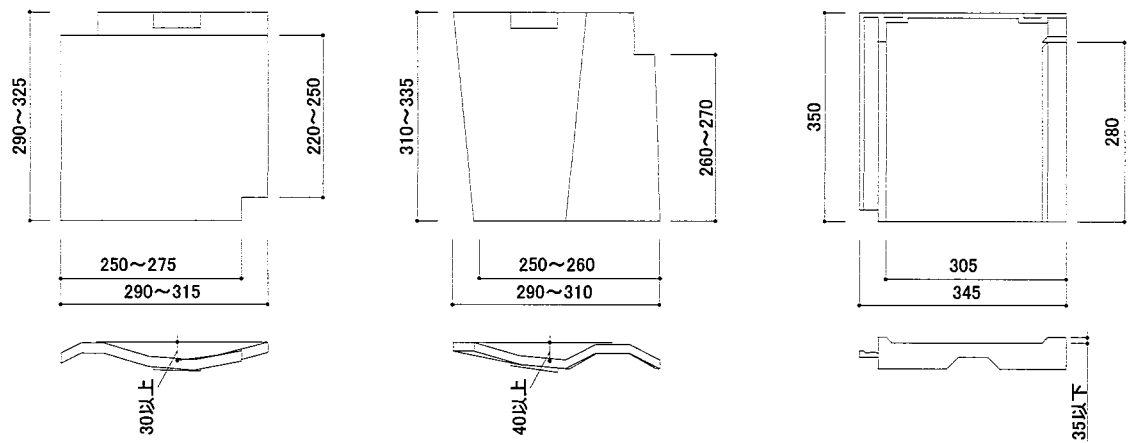
注) 寸法および材料構成は 2 および 3 のとおり

*: 本評価内容に含まない

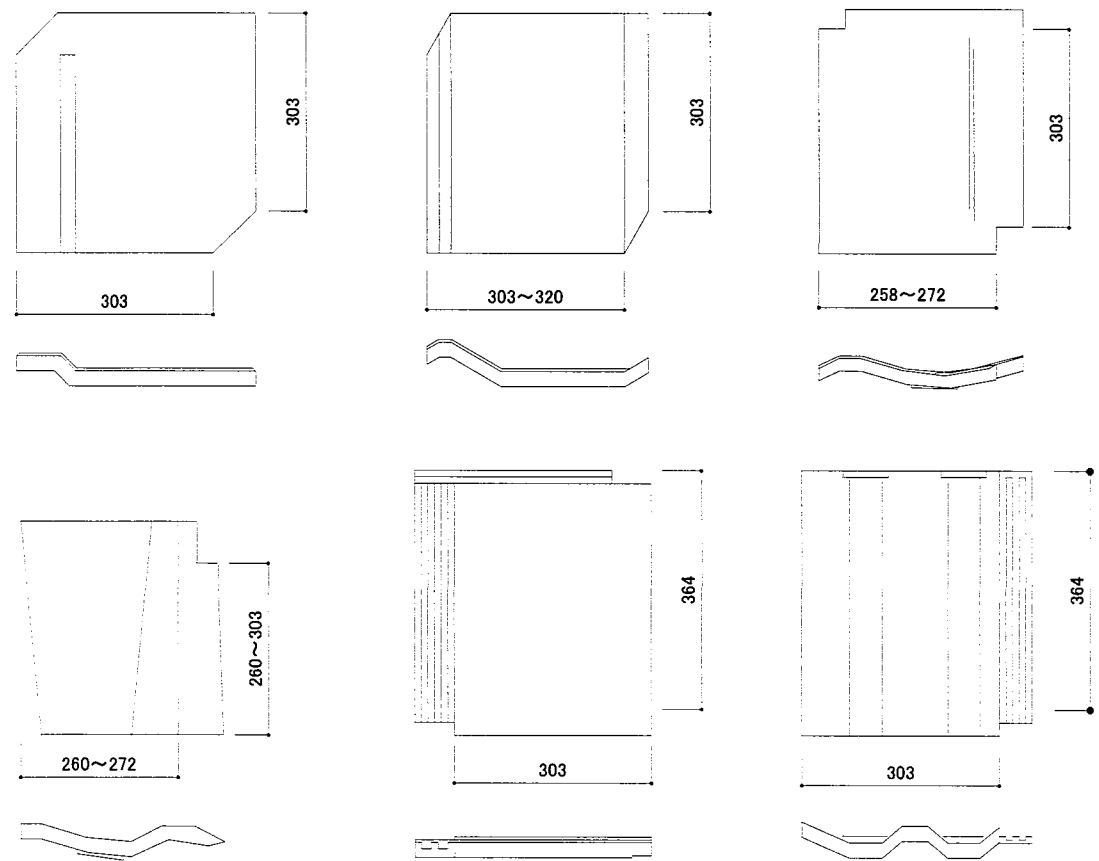
葺材形状

[1] 粘土がわらの場合（例）

（寸法単位：mm）



[2] プレスセメントがわらの場合（例）



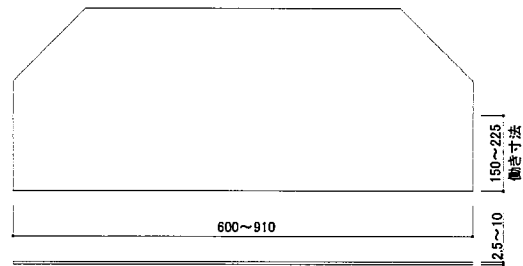
S 形棧がわら

平板棧がわら

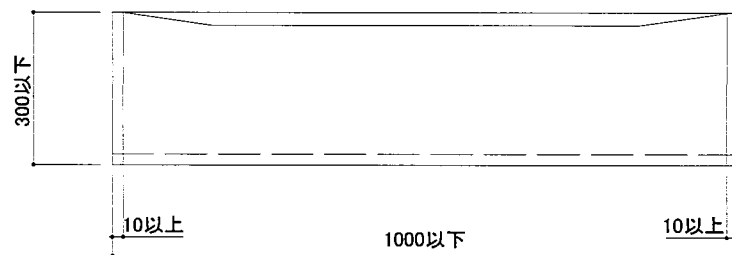
波形棧がわら

[3]住宅屋根用化粧スレートの場合

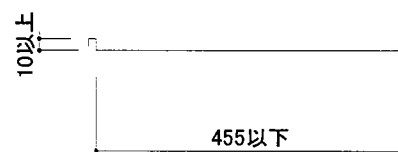
(寸法単位：mm)



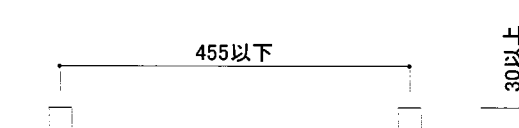
[4]金属板 平葺の場合



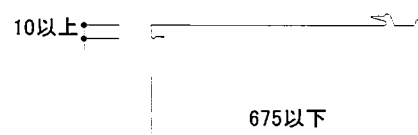
[5]金属板 たて平葺の場合



[6]金属板葺 かわら棒葺の場合

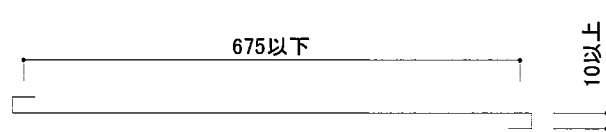


[7]金属板葺 段葺の場合

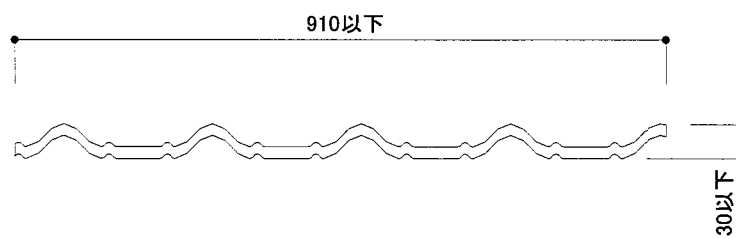


[8]金属板葺 横葺の場合

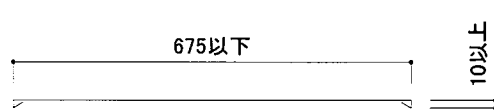
(寸法単位：mm)



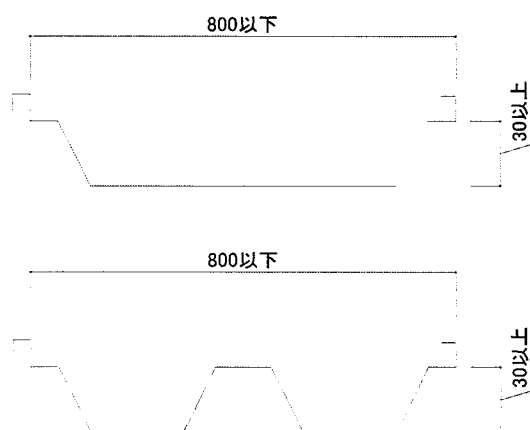
[9]金属板葺 金属がわら葺の場合



[10]金属板葺 平滑葺の場合



[11]金属板葺 折板葺の場合



< 施工手順 >

1) 下地工程：

- ・母屋は構造耐力上安全なものとし、耐火 1 時間の被覆を施す。ただし平成 12 年度建設省告示第 1399 号第 4 第三号ニの規定に該当する場合には、耐火被覆をなくしてもよい。
- ・垂木の間隔は 606mm 以下とする。

2) 野地板の取付け：

- ・割付に従って、野地板を留付ねじで間隔 303mm 以下に垂木に留付ける。
- ・野地板目地に野地板目地部材を使用することができる。なお、野地板目地部材はたる木を跨ぐように施工する。

3) 屋根仕上げ：

- ・野地板の上に防水紙を重代 100mm 以上にて葺き防水する。
- ・屋根葺材は、不燃材料で葺上げる。